

# 第3次清川村総合計画

後期基本計画・実施計画・実績評価

【計画期間：令和5年度】

～水と緑の心の源流郷～ きよかわ

輝き・愛着・誇いを育む村づくり



神奈川県 清川村

令和7年3月



## 目 次

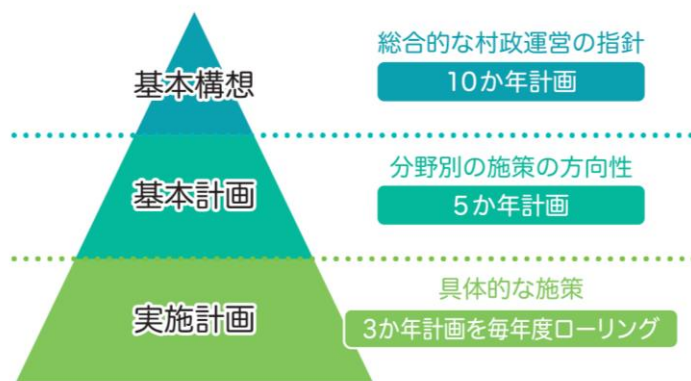
I	第3次清川村総合計画後期基本計画・実施計画について・・・	p 1
II	実施計画体系図・・・・・・・・・・・・・・・・	p 4
III	実施計画・・・・・・・・・・・・・・・・	p 9
	重点 1：村の魅力活用プロジェクト・・・・・・・・	p 9
	重点 2：交流人口拡大プロジェクト・・・・・・・・	p 35
	重点 3：居住環境整備プロジェクト・・・・・・・・	p 53
	重点 4：清川っ子を育むプロジェクト・・・・・・・・	p 95
	重点 5：高齢者の活力創出プロジェクト・・・・・・・・	p 151

## I 第3次清川村総合計画後期基本計画・実施計画について

### 1 実施計画の位置づけ

#### (1) 基本構想

村が目指す将来像を実現するため、村民や地域に関与する個人や団体などと行政がお互いの特長を活かし協力し合う「協働」を進めることにより、村における生活の利便性の向上や村の資源の活用した産業振興などを実現するなど、村政の公共領域を再構築することを目指し、5つの「施策の大綱」を推進します。



- ① 自然と調和した住みよい村づくりの推進
- ② 地域の特性を活かした産業振興と活性化の推進
- ③ 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進
- ④ 誇りを持って村を支える人づくりの推進
- ⑤ 村民と行政が築く村政の推進

#### (2) 後期基本計画

基本構想に掲げる「施策の大綱」に基づき、前期基本計画の成果を検証し、社会経済情勢や地域社会を取り巻く状況の変化などを踏まえ、後期基本計画では、村の将来像を実現するため、今後、5年間で村が重点的に取り組むことについて、「重点プロジェクト」を定めています。

- ① 村の魅力活用プロジェクト
- ② 交流人口拡大プロジェクト
- ③ 居住環境整備プロジェクト
- ④ 清川っ子を育むプロジェクト
- ⑤ 高齢者の活力創出プロジェクト

#### (3) 実施計画

実施計画は、計画的に実施すべき施策・事業を現状の行財政の中で、どのように具現化していくかを定めるものであり、後期基本計画で定めた施策を補足するとともに、毎年度の予算編成にあたっての先導的な役割を果たし、財政的な裏付け等を盛り込んだ年度別計画としています。

また、施策・事業による目標の達成に向け、効率的で効果的な行政運営を推進するため、予算査定時や各種広聴事業を通じて、その進捗度や費用対効果を精査し、時代の潮流に応じて施策の方向性等をその都度検討するものとします。

## 2 実施計画の期間

実施計画の計画期間は、令和4年度を起点とした2年間とし、次年度以降もローリング方式で更新します。

## 3 実施計画の事業単位

実施計画の対象事業の単位は、原則として予算上の事業単位とします。ただし、事業がその対象者や目的などと異なる複数の事業から構成されている場合は、それぞれの事業を細分化した実施計画事業とします。

今後、新年度予算編成時において、必要に応じ、事業を分離・集約等を検討します。

## 4 実施計画の対象事業

実施計画の対象事業は、原則として次に該当するものとします。

- (1) 第3次総合計画後期基本計画において、重点プロジェクトとして位置づけられている施策・事業のうち、単年度の予算額が1件概ね100万円以上の事業
- (2) 当初予算の記者発表資料等に掲載された新規・拡充及び主要事業等

## 5 実施計画調書作成に係る留意事項及び記載要領

### (1) 重点プロジェクト

後期基本計画における5つの重点プロジェクトのうち、該当するプロジェクト名を記載しています。

### (2) 目標指標

後期基本計画における重点プロジェクト毎に定める「令和5年度（2023年）までの重要業績評価指標（KPI）」を記載し、これを「目標指標」として定めています。

### (3) 位置付け

第3次清川村総合計画における「施策の大綱」、後期基本計画における「基本目標」、「基本施策」を記載しています。

### (4) 計画事業（予算事業）

「予算事業名」を記載しています。予算事業の一部の事業の場合は、主管課等で作成した事業名を記載し、「予算事業名」の頭には、「事業整理No.」として重点プロジェクト毎に番号を付しています。

### (5) 区分

令和4年度で新たに着手・実施する事業の場合は「新規」、事業規模等を拡大する場合は「拡大」、現状のまま継続する事業の場合は「継続」と記載しています。

### (6) 事業概要、事業費

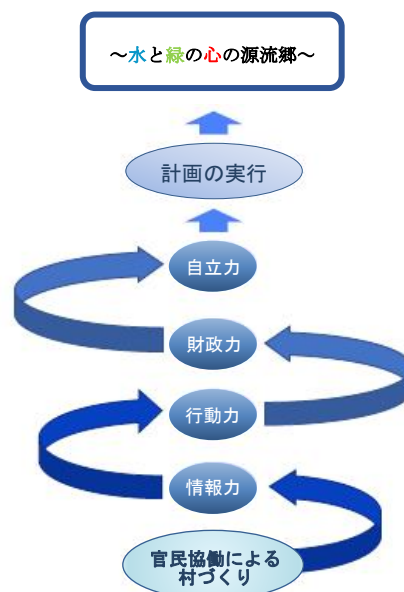
実施計画に掲げた事業の概要、2か年の施策・事業の方向性及び1か年毎の事業費を記載しています。

## 6 実現化方策

本計画の実現に向けて、重点プロジェクトや基本施策を着実に進めていくためには、実行性を確保し、より実効性を高める必要があるため、重点プロジェクトや基本施策の実施に当たり、情報力・行動力・財政力・自立力の4つを推進力として位置付け、円滑かつ着実に進めていくことで、より実効性の高い取り組みとします。

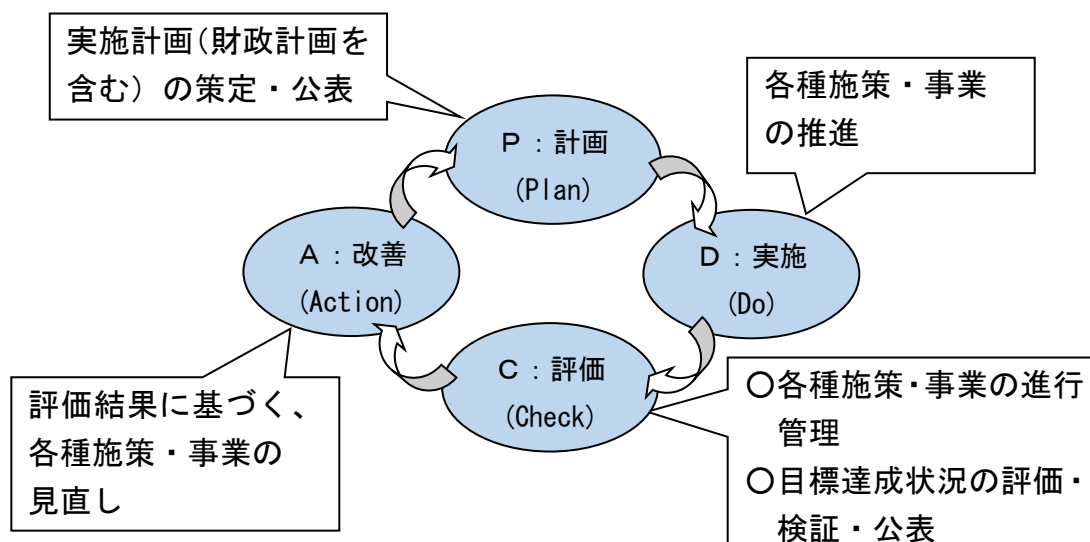
- 情報力
- 行動力
- 財政力
- 自立力

以上の4つの推進力を念頭に置き、重点プロジェクトの成果を評価・検証するため、5年後の重要業績評価指標（KPI）を定めて、計画の進行管理を行いながら、実現を図ることとしています。



## 7 実施計画の進行管理

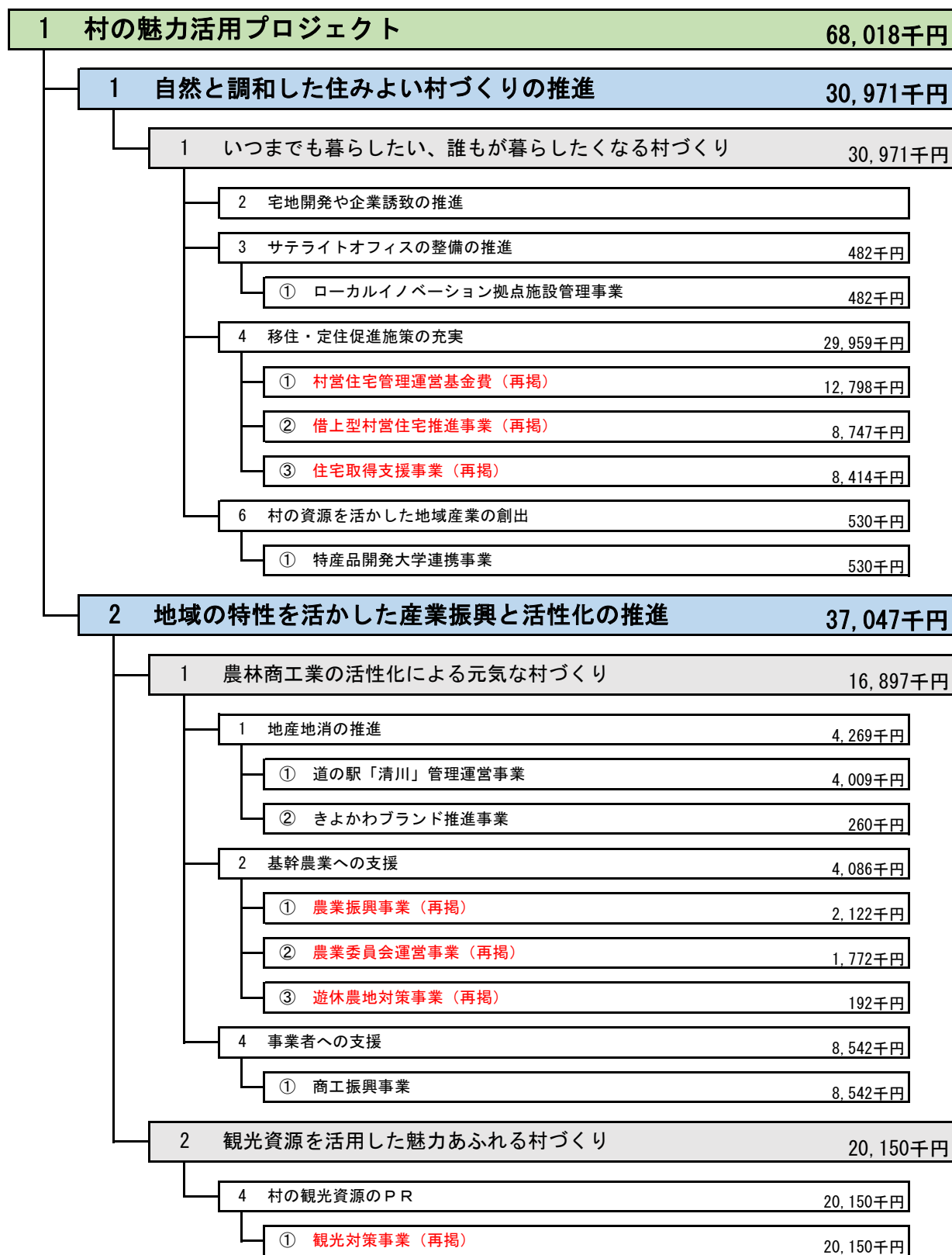
実施計画に掲載する各事業の着実な推進を図るには、PDCAサイクル※（Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善））を確立し、適切な進行管理が必要となるため、評価に当たっては、プロジェクトごとに設定した重要業績評価指標（KPI）により、プロジェクトの効果を検証・評価します。



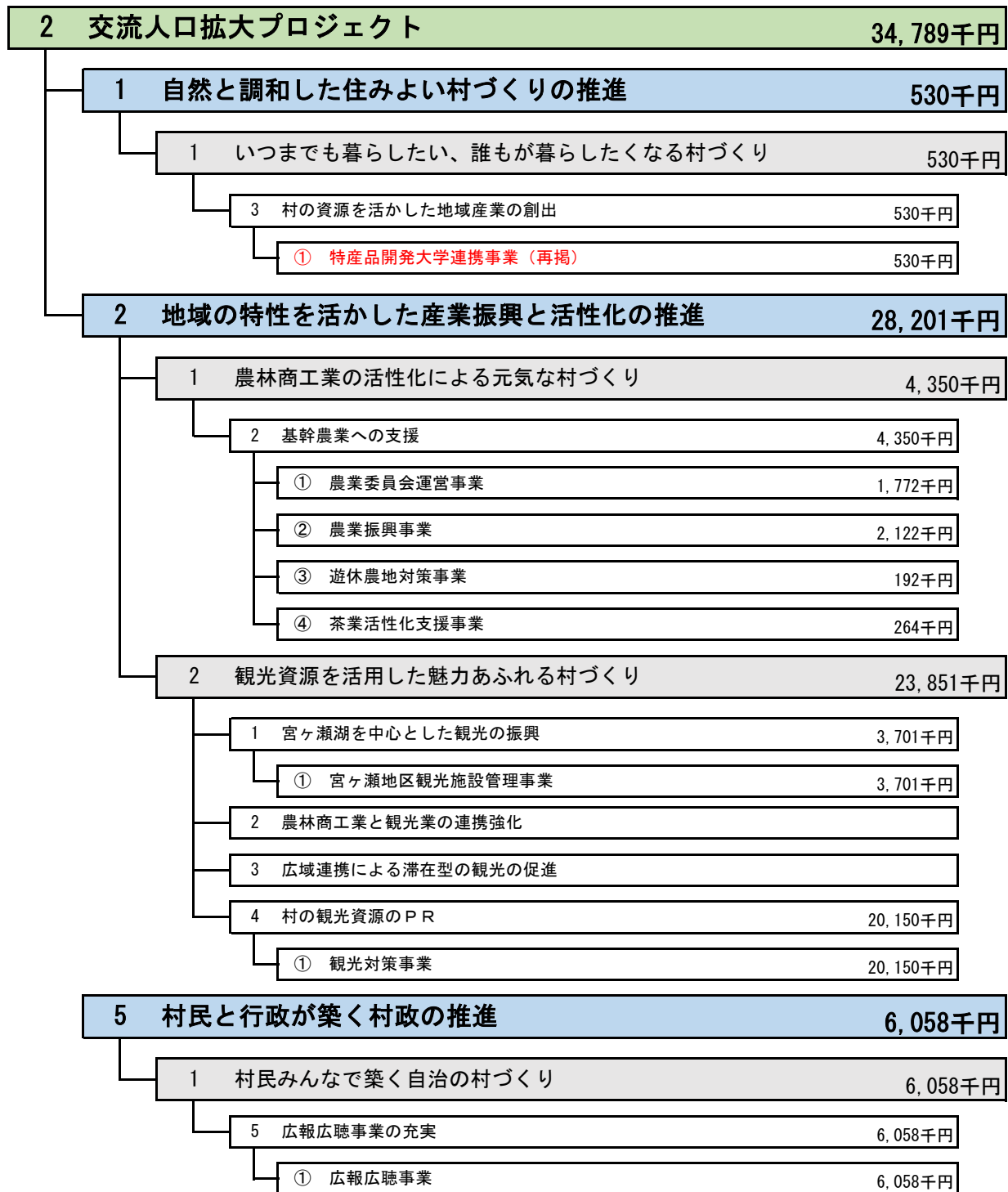
## 8 実績評価

評価については、実績評価作成要領に基づき評価を実施します。

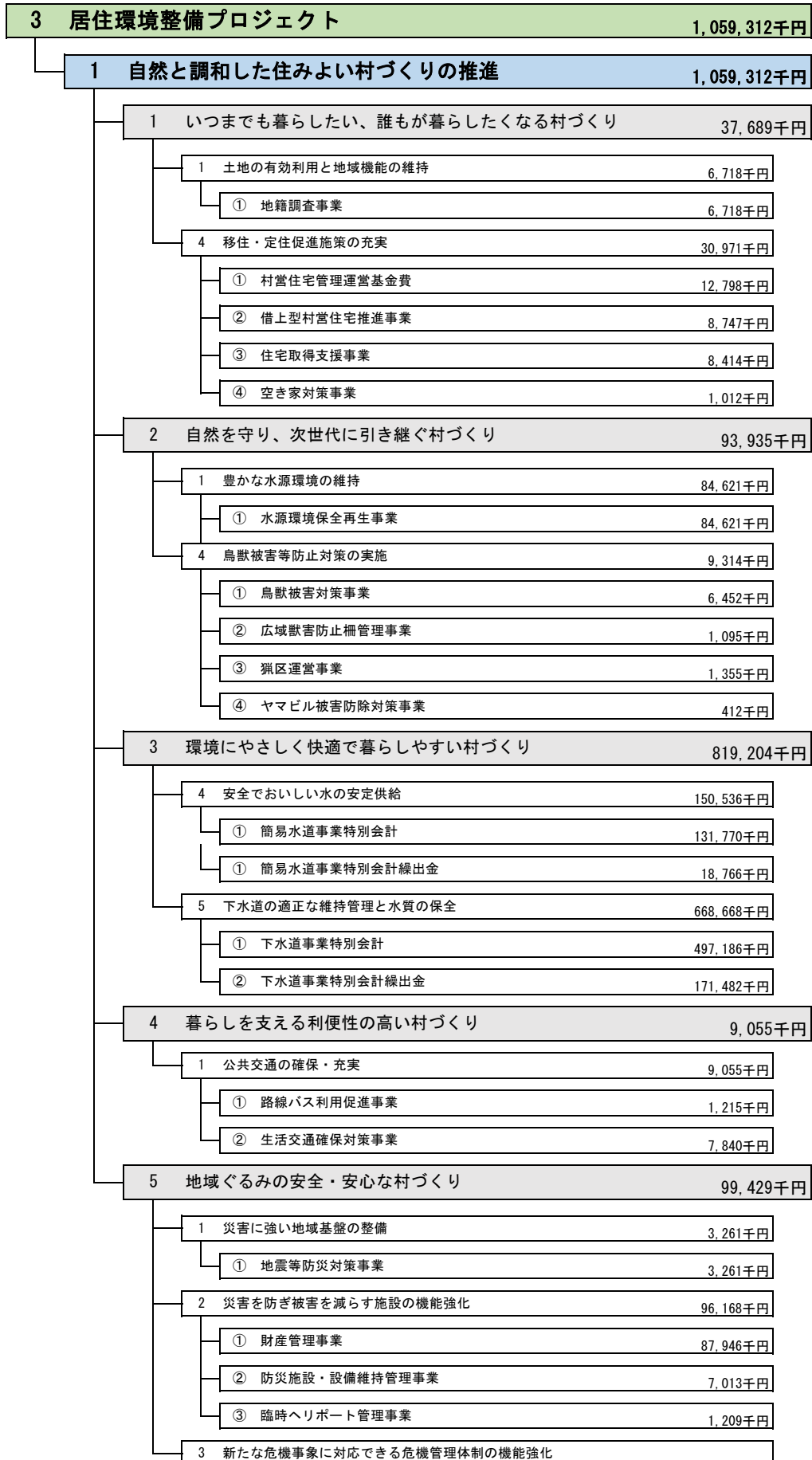
## Ⅱ 実施計画体系図



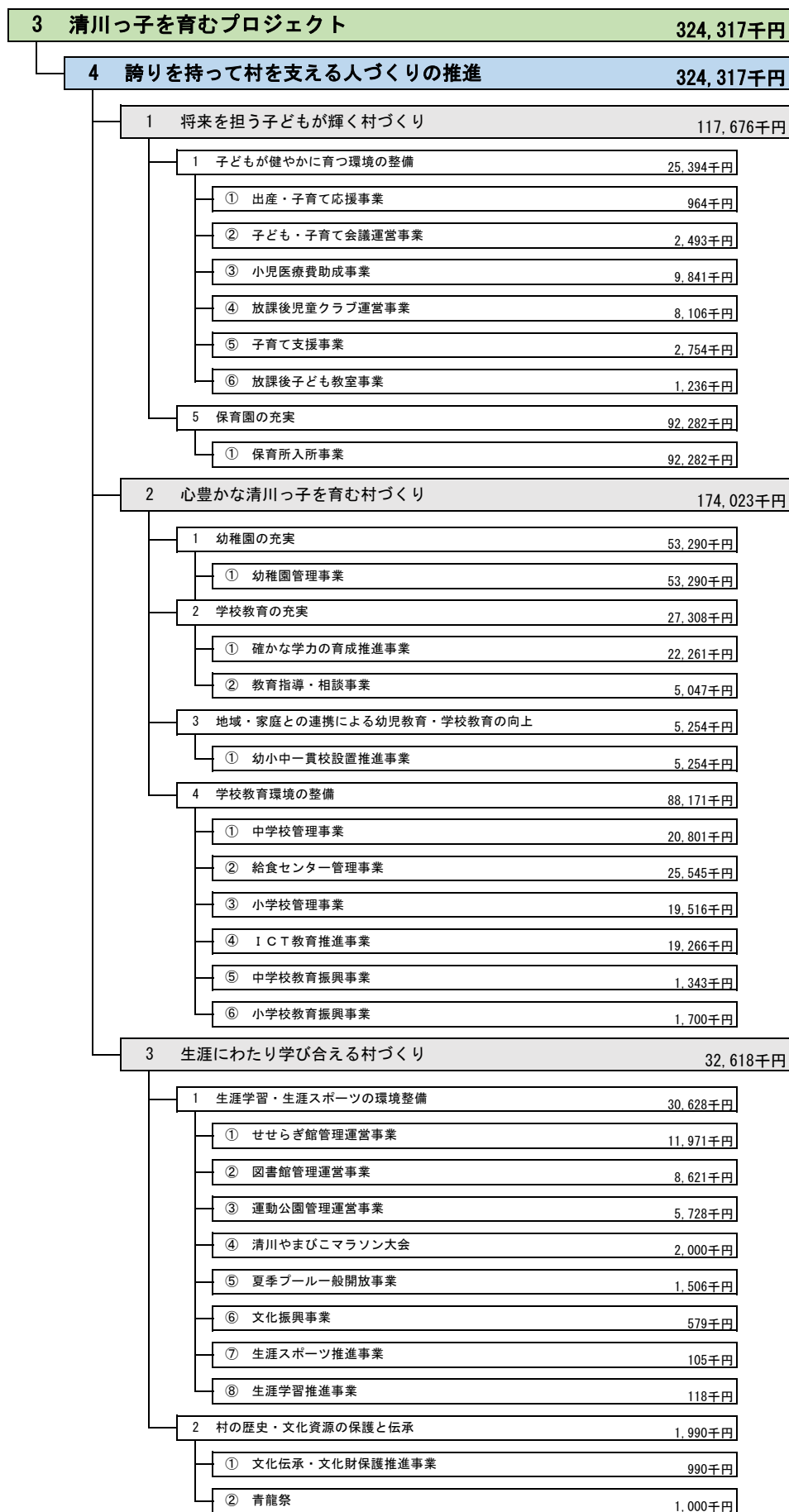
## Ⅱ 実施計画体系図



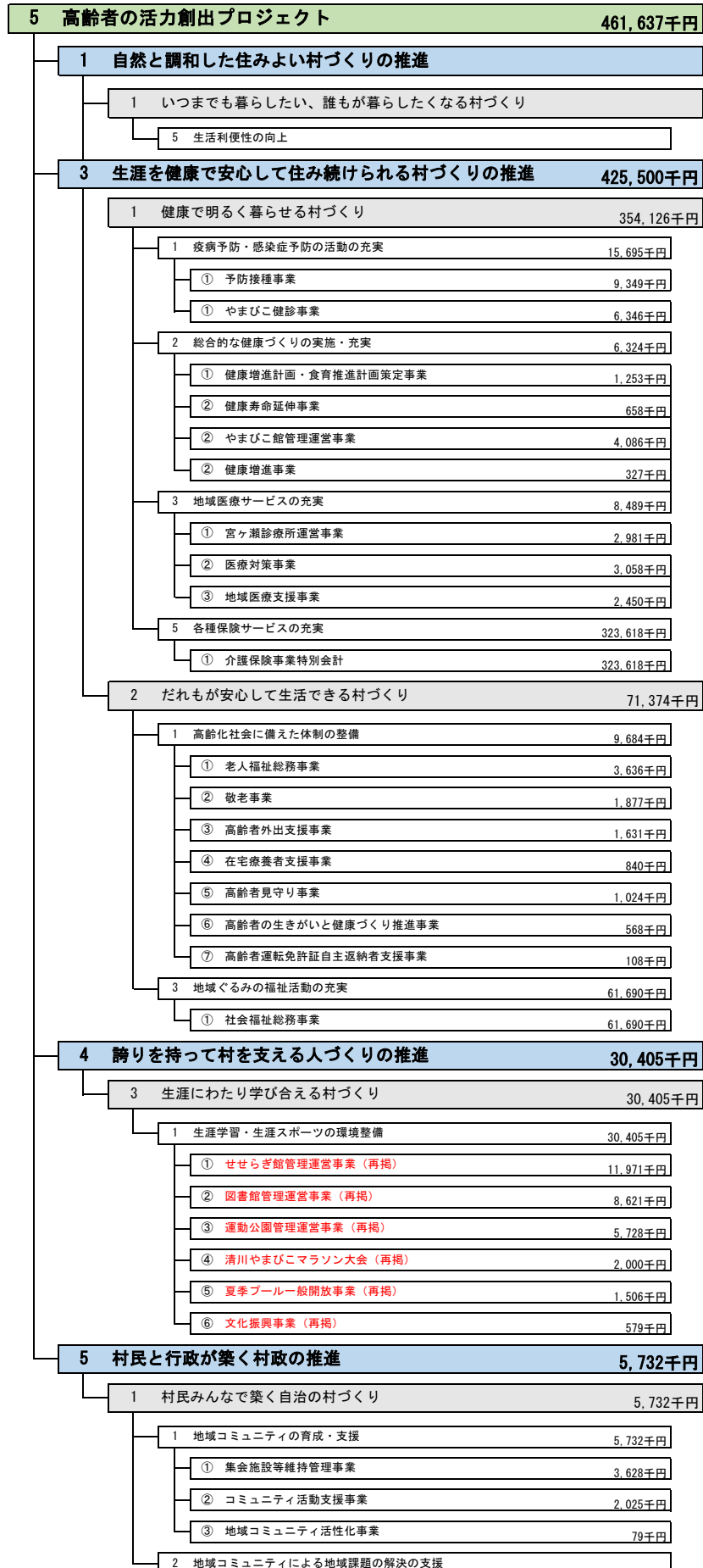
## Ⅱ 実施計画体系図



## Ⅱ 実施計画体系図



## II 実施計画体系図



### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 目標管理シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業者の 誘致数	新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数	道の駅新規 販売品目数
	10事業所	30人	1校	30品目

目 標 達 成 度				
年度／区分	新規事業者の 誘致数	新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数	道の駅新規 販売品目数
令和元年度 (2019年)	3事業所	55人	1校	24品目
令和2年度 (2020年)	4事業所	38人	0校	0品目
令和3年度 (2021年)	3事業所	26人	0校	0品目
令和4年度 (2022年)	4事業所	24人	0校	15品目
令和5年度 (2023年)	3事業所	40人	0校	10品目
計	17事業所	183人 (年平均36.6人)	1校	49品目

事 業 実 績			
計画事業（予算事業）		評価	今後の方向性・方針
101	ローカルイノベーション拠点施設管理事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
102	村営住宅管理運営基金費（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
103	借上型村営住宅推進事業（再掲）	B	継続 課題があるが、継続して実施します
104	住宅取得支援事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
105	特産品開発大学連携事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
106	道の駅「清川」管理運営事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します

事業実績			
計画事業（予算事業）		評価	今後の方向性・方針
107	きよかわブランド推進事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
108	農業振興事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
109	農業委員会運営事業（再掲）	B	継続 課題があるが、継続して実施します
110	遊休農地対策事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
111	商工振興事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
112	観光対策事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します

達成状況に対する評価	
新規事業者の誘致数	新規創業を検討されている方への側面支援のほか、受け入れ先のマッチング等が課題です。
新規雇用者数	新規雇用者が増えている傾向にある。
特産品開発に係る連携大学数	現在、相模女子大学との連携活動に取り組んでいる。
道の駅新規販売品目数	季節によって新商品が販売されることにより、新規販売品目数が増えました。


目標指針の今後の方向性・方針	
新規事業者の誘致数	愛甲商工会との連携を図り、新規創業者へ向けたセミナーの開催のほか、相談窓口等を通じた創業支援を引き続き実施する。
新規雇用者数	引き続き新規雇用に向けて、工夫していく。
特産品開発に係る連携大学数	今後も継続的に連携活動を行っていく。
道の駅新規販売品目数	少しでも販売エリアを拡大して多くの商品が並べるような工夫を行い、新規販売品も増やしていく。
【備考】	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数	新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)
	10事業所	30人	1校	30品目
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進		
計画事業 (予算事業)	101 ローカルイノベーション拠点施設管理事業		担当部署	村づくり観光課
事業概要	新たな産業の拠点として整備したローカルイノベーション拠点施設のサテライトオフィス「むらてらす」の維持管理を行います。都市部から企業を誘致するほか、村内起業家の拠点として活用することで、地域経済の活性化や若年層の雇用を創出し、人口流出の抑止を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	482 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績							
事業費	予算現額	345,000 円	主な実績内容				
	決算額	120,598 円	ローカルイノベーション拠点施設の維持管理を行い、利便性向上に努めました。				
事業成果		村内への進出希望企業との連携により、1事業者の入居決定に繋がりました。		課題	現在1部屋が入居者決定に至っていないことから、引き続きオフィスの認知度向上、入居者の決定に向けた情報発信が必要です。		
評価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	<b>【理由】</b> 企業誘致や雇用創出の場、移住定住などを図る上での重要な拠点であり、入居事業者による地域活性化に寄与する取り組みを検討していく場でもあることから、継続して実施します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	○
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数	新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)
	10事業所	30人	1校	30品目
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進		
計画事業 (予算事業)	102 村営住宅管理運営基金費(再掲)		担当部署	村づくり観光課
事業概要	村営住宅(一般住宅・子育て世代型住宅)の入居者から徴収する使用料のうち必要経費を差し引いた余剰金を積み立て、将来的な住宅の修繕工事等に備えます。		区 分	継続
			令和5年度	12,798 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績					
事業費	予算現額	9,300,000 円	主な実績内容		
	決算額	9,300,000 円	村営住宅（一般住宅・子育て世代型住宅）の入居者より預かる使用料等から施設維持に係る必要経費を差し引いた余剰金について、今後の施設更新等に要する資金として積み立てを行いました。		
事業成果		村営住宅入居者より預かる使用料から施設維持に係る必要経費を差し引いた余剰金を積み立てることで計画的かつ継続的な経営ができ、将来の施設更新等に備えることができました。	課題	築年数が古く老朽化が進んでいる施設が多いことから、今後修繕の件数増加が見込まれるため、退去時の大規模修繕等計画的に行っていく必要があります。	
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	【理由】 引続き基金の積み立てを行うことで、計画的かつ継続的な財政運営を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	
				廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		
		B	9	B どちらかと言うと高い		○
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数	新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)
	10事業所	30人	1校	30品目
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進		
計画事業 (予算事業)	103 借上型村営住宅推進事業(再掲)		担当部署	村づくり観光課
事業概要	村民が所有する土地に建築する一定の整備基準を満たす住宅を村が村営住宅として15年間借り受け、若年層で子どもを扶養する方に優先して転貸することで村内の地域活性化や移住・定住促進を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	8,747 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	8,747,000 円	主な実績内容			
	決算額	8,441,163 円	村民が自ら所有する土地に整備基準を満たした住宅を建築した際に村が当該住宅を村営住宅として借上げ、村内に居住を希望する方に転貸し、適正な管理運営を行いました。 戸数：7戸			
事業成果	村営住宅として借り受け、村への移住・定住を希望する方に対し転貸することで、人口増もって地域活性化を図ることができました。		課題	令和7年度以降、住宅所有者であるオーナーとの賃貸借契約が順次満了を迎えることから、今後事業の見直し及び代替事業の研究が必要です。		
評価			B 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 村営住宅として借り受け、村への移住・定住を希望する方に対し転貸することで、村内への移住・定住施策の安定、もって人口増、地域活性化を図ることが見込まれるため継続します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	○
		B	7	B どちらかと言うと有効	
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	104 住宅取得支援事業（再掲）			担当部署	村づくり観光課	
事業概要	村内で住宅を取得した方への一部助成や住宅の新築・増改築・購入等のために金融機関から融資を受けた方への利子補給金の交付等住宅取得に対する支援を行い、移住・定住促進及び地域経済の活性化を図ります。			事業費	区 分	継続
					令和5年度	8,414 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	9,846,000 円	主な実績内容			
	決算額	9,306,600 円	村内において新築または中古住宅を取得した方に対し、次のとおり支援を行いました。 住宅取得奨励金 10件 7,900,000円 勤労者等住宅資金利子補給金 23件 1,399,600円			
事業成果	村への移住・定住を決めた方に対し支援を行ったことで人口増もって地域活性化を図ることができました。		課題	村への移住・定住を希望する方に対し、更なる制度の認知度を上げるとともに人口増を図るべく情報発信が必要です。		
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 魅力ある制度として情報を提供することで、村へ移住・定住を希望する方に対し、興味をもっていただき、将来の人口増もって地域活性化に資するため継続します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	105 特産品開発大学連携事業			担当部署	村づくり観光課	
事業概要	令和元年度に包括協定を締結した相模女子大学と連携し、地域課題の解決や地域経済の活性化、学生目線での新たな魅力創出のため、地域資源を活用した特産品開発に取り組みます。また、研究開発したレシピを村内飲食店と連携しPRすることで交流人口の増加及び地域の活性化を図ります。			事業費	区 分	継続
					令和5年度	530 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事 業 実 績						
事業費	予算現額	530,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	173,862 円	清川村の特産品である「お茶」を活用したレシピ開発を行い、宮ヶ瀬クリスマスイベントにて試験販売を行いました。			
事業成果		1年間の活動を通じて、清川茶を活用したレシピを開発しました。 ○清川茶パスタ   ○清川茶おしるこ ○清川茶プリン   ○清川茶漬け	課 題	遠方に居住する学生が多かったほか、授業や実習等の都合によりレシピの開発や試作に要する時間の確保が課題となっています。		
評 価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<div>【理由】</div> <div>次年度も引き続き「お茶」を活用した特産品開発を継続的に 行い、村産食材の魅力向上・発信を行います。</div>	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
				廃 止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	106 道の駅「清川」管理運営事業			担当部署	村づくり観光課	
事業概要	道の駅「清川」の指定管理者と連絡調整を行い、道路利用者へ良好な休憩の場を提供するため、施設の適正な維持管理を行います。また、地域情報の発信や農産物等の地場産品の販売による村民と来訪者との交流促進や地域産業の振興、地域経済の活性化を推進します。			事業費	区 分	継続
					令和5年度	4,009 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	4,840,300 円	主な実績内容			
	決算額	4,703,596 円	○指定管理委託料：1,200,000円 ○食堂空調設備修繕工事：1,144,000円 ○1階物販スペース陳列棚作成業務委託：473,000円			
事業成果		指定管理制度により（株）アグリメディアを指定管理者として、道の駅「清川」の適正な管理運営が図られました。 村としては、新たに陳列棚を作成し売り場の利便性拡大を図りました。	課題	人件費や光熱水費などの高騰により、指定管理者における事業運営にも影響が出ています。		
評価			A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 引き続き、民間の経営手法やノウハウを活用し、観光拠点の一つとして魅力ある道の駅となるよう、継続して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)
	10事業所		30人	1校	30品目
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進			
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり			
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進			
計画事業 (予算事業)	107 きよかわブランド推進事業			担当部署	村づくり観光課
事業概要	令和4年度に開始したきよかわブランド認定制度により、地域セールスの一環として地域特産物の普及促進を図ります。また、認定品の拡充を推進し、認定した特産物の生産性の向上や消費拡大を図ります。			区 分	継続
				令和5年度	260 千円
				令和6年度	予算編成時協議
				令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	103,289 円	主な実績内容			
	決算額	103,289 円	○特産物普及啓発物品購入 茶ほか：73,289円 ○きよかわブランド認定審査委員会（委員5名）：1回開催			
事業成果	村の特産物を配布することにより、消費拡大及び普及啓発が図られた。また、「きよかわブランド」認定制度では、3品目を認定しました。		課題	ブランド認定品の販路や消費を拡大するため、PRの手法を強化する必要があります。		
評価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 地場産品の消費拡大により、地域の活性化をはじめ、基幹産業の活性化に寄与することから、継続して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数	新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)
	10事業所	30人	1校	30品目
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進		
計画事業 (予算事業)	108 農業振興事業(再掲)		担当部署	建設農林課
事業概要	農林業及び商工業を村内外に広く紹介するとともに、村産業の発展と振興を図る目的で産業まつりを開催するほか、道の駅「清川」を中心とした農業活性化や魅力創出として、農作物の作付け費用や農業振興に係る団体等への支援を実施し、地場産品の消費拡大と地産地消を促進します。		区 分	継続
			令和5年度	2,122 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	2,122,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,541,285 円	○ 農産物生産促進補助金：100,000円（10件） ○ 畜産防疫対策事業補助：527,000円（1件） ○ 産業まつり：490,000円			
事業成果		産業まつりの実施及び農産物生産促進補助により、農業の発展と生産性向上が図られた。また、豚熱ワクチンの補助により、畜産経営の安定を図ることができました。		課題	農業を振興する上で、農業従事者の高齢化が進んでいることから、担い手の確保が必要です。	
評価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 遊休農地対策事業や農業委員会運営事業等、関連する事業と連携を図りながら事業を継続します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	109 農業委員会運営事業（再掲）			担当部署	建設農林課	
事業概要	農地法に係る許認可事務のほか、かけがえのない農地と担い手を守るとともに、遊休農地対策等農地の利用の最適化を推進し、遊休農地の解消や新規就農者の発掘・育成等を図ります。			事業費	区 分	継続
					令和5年度	1,772 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	1,697,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,655,103 円	農業者の公的代表機関として、農地法等の法令業務の厳正かつ的確な執行を図るとともに、本村農政の現状と将来の課題について農家の意向を踏まえ、関係機関への要望を行いました。また、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定手法を活用した遊休農地等のあっ旋、村就農予備校研修事業等新たな農業担い手の発掘、育成等を行いました。			
事業成果		農業委員会において農地等の利用の最適化の推進に資することができました。		課題	新たな担い手の発掘や新規就農者のあっせんを含め、遊休・荒廃農地対策の推進が必要です。	
評価				<div>B</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 農業の担い手への農地利用の集約化や遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等農地の利用の最適化を推進します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		○
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		○
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	110 遊休農地対策事業（再掲）			担当部署	建設農林課	
事業概要	遊休農地や荒廃農地対策として、新たに農地の利活用や耕作放棄地の再生利用等を研究する清川村農地活性化協議会を設置し、農地の活性化や新たな特産農作物の検討を行います。また、農地の貸し借りを奨励する流動化奨励金や農地バンク制度を推進し、遊休農地の解消を図ります。			事業費	区 分	継続
					令和5年度	192 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事 業 実 績					
事業費	予算現額	132,000 円	主な実績内容		
	決 算 額	15,068 円	清川村農地活性化協議会の設置により、遊休農地対策の検討に向けて関係機関と情報共有することができました。 また、研修農場の運営により農業の担い手となり得る7名が耕作を継続することができました。		
事業成果		研修農場利用者　：7名 農地の利用権設定：9組（6940.52㎡）	課 題	不耕作地の減少に寄与している有効な事業であるものの、高齢化等による耕作放棄も常態化しており、対策を着実に推進する必要があります。	
評 価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 引き続き担い手の確保及び育成並びに担い手と農地の貸し手とのマッチングを推進します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合	
			廃 止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	111 商工振興事業			担当部署	村づくり観光課	
事業概要	村の地域経済を支える商工業を営む事業者の経営安定及び起業者支援のため、中小企業等を対象に村独自の事業資金融資制度等を実施するほか、住民生活環境向上を目的に住宅リフォーム助成制度を行い、地域経済の活性化を図ります。			事業費	区 分	継続
					令和5年度	8,542 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	6,836,000 円	主な実績内容			
	決算額	5,837,750 円	村内に居住して商工業を営む事業者に必要な資金の融資・借入に対し、各種補助等を実施しました。また、個人住宅のリフォーム工事に対する助成金を交付したほか、清川村商工共栄会へ補助金を支出し、事業者団体の活動への支援を行いました。			
事業成果		住宅リフォーム助成金においては、23件の申請を受け、村内事業者の活用が促進され、村民の住宅環境の向上のほか、事業者への支援を図ることができました。	課題	中小企業事業資金融資事業について、村内事業者の利用促進を図るため、取扱金融機関の拡大など検討が必要です。また、村外からの誘致企業に対する助成制度の構築等、検討が必要です。		
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 村内事業者を支える各種補助制度や、事業者団体への補助金など、今後も継続的な支援を行っていく必要があるため、継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
			廃止			

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数	新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)
	10事業所	30人	1校	30品目
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進		
計画事業 (予算事業)	112 観光対策事業(再掲)		担当部署	村づくり観光課
事業概要	来訪する観光客への情報提供や、各種協議会と一体となった観光キャンペーンなどを実施し、村の観光PRを行います。また、宮ヶ瀬湖周辺地域を中心とした観光イベントや各種実行委員会等の支援を行い、観光客や関係人口の増加に努め、地域経済の活性化を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	20,150 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	19,795,000 円	主な実績内容			
	決算額	19,771,211 円	○マスコットキャラクターグッズ製作業務（Tシャツ・キャップ・ブランケット・ボールペン） ○宮ヶ瀬桜まつりは通常開催、宮ヶ瀬ふるさとまつりは日程を分散し開催、宮ヶ瀬クリスマスについては通常開催通り開催しました。			
事業成果		定期的な観光PRや情報発信、イベントの開催により、来訪者増加に寄与することができました。		課題	宮ヶ瀬地区イベントについて、実行委員会との連携を通じ、運営手法の見直しや、更なる関係人口増加に向けた新たな集客効果のあるイベントの取り組みを検討していく必要があります。	
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 PR手法について、新たな媒体の活用を検討し、効果的な認知度の向上を図る必要があるため、継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 目標管理シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件	230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)	10%

目 標 達 成 度				
年度/区分	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
令和元年度 (2019年)	4件	158万人/年	62万件/年	0%
令和2年度 (2020年)	1件	165万人/年	88万件/年	0%
令和3年度 (2021年)	0件	240万人/年	82万件/年	0.47%
令和4年度 (2022年)	1件	230万人/年	79万件/年	0.71%
令和5年度 (2023年)	2件	240万人/年	77万件/年	1.99%
計	8件	240万人/年	77万件/年	3.17%

事 業 実 績			
計画事業（予算事業）		評価	今後の方向性・方針
201	特産品開発大学連携事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
202	農業振興事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
203	農業委員会運営事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
204	遊休農地対策事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
205	茶業活性化支援事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
206	宮ヶ瀬地区観光施設管理事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
207	観光対策事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
208	広報広聴事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します

達成状況に対する評価	
新規イベント数	既存イベントの運営を視野に入れつつ、運営体制の見直しや財源確保の検討が必要です。
観光入込客数	月別の統計によると、特定月での増減の幅が大きく、閑散期へ向けた来訪を促す取り組みが必要です。
村ホームページアクセス数	観光情報やイベント関連ページへのアクセスが集中しており、実施状況に応じて全体のアクセス数が大きく変動していることから、利便性の向上と村民利便性の向上に向けた手法を検討する必要があります。
不耕作地減少率	農地所有者の高齢化や担い手不足により新たな不耕作地が生じています。

目標指針の今後の方向性・方針	
新規イベント数	補助金等の活用も視野に入れ、関係団体との連携を図りつつ、新規イベント誘致に向けた取り組みを継続します。
観光入込客数	既存イベントや新規イベント等の誘致と併せ、年間を通じた来訪を促す取り組みを継続して実施します。
村ホームページアクセス数	情報量の充実を図るほか、利用者ニーズの把握、村ホームページへの積極的な誘導により、利便性の向上を図ります。
不耕作地減少率	所有者の意向確認や関係機関との連携を継続し、引き続き新たな対策の検討と不耕作地の減少に向け取り組みを継続します。
【備 考】	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和５年度 （2023年）までの 重要業績評価指標 （ＫＰＩ）	新規イベント数		観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率	
	10件		230万人/年 （2017年 218万人）	100万件/年 （2017年 60万件）	10%	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	6 村の資源を活かした地域産業の創出				
計画事業 （予算事業）	201 特産品開発大学連携事業（再掲）			担当部署	村づくり観光課	
事業概要	令和元年度に包括協定を締結した相模女子大学と連携し、地域課題の解決や地域経済の活性化、学生目線での新たな魅力創出のため、地域資源を活用した特産品開発に取り組みます。また、研究開発したレシピを村内飲食店と連携しPRすることで交流人口の増加及び地域の活性化を図ります。				区 分	継続
				事業費	令和５年度	530 千円
					令和６年度	予算編成時協議
					令和７年度	

事業実績						
事業費	予算現額	530,000 円	主な実績内容			
	決算額	173,862 円	清川村の特産品である「お茶」を活用したレシピ開発を行い、宮ヶ瀬クリスマスイベントにて試験販売を行いました。			
事業成果		1年間の活動を通じて、清川茶を活用したレシピを開発しました。 ○清川茶パスタ    ○清川茶おしるこ ○清川茶プリン    ○清川茶漬け		課題	遠方に居住する学生が多かったほか、授業や実習等の都合によりレシピの開発や試作に要する時間の確保が課題となっています。	
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 次年度も引き続き「お茶」を活用した特産品開発を継続的に
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	○ 行い、村産食材の魅力向上・発信を行います。
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件	230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)	10%
位置付け	施策の 大綱	2 地域の特性を活かした産業振興と活性化の推進		
	基本目標	1 農林商工業の活性化による元気な村づくり		
	基本施策	2 基幹農業への支援		
計画事業 (予算事業)	202 農業振興事業		担当部署	建設農林課
事業概要	農林業及び商工業を村内外に広く紹介するとともに、村産業の発展と振興を図る目的で産業まつりを開催するほか、道の駅「清川」を中心とした農業活性化や魅力創出として、農作物の作付け費用や農業振興に係る団体等への支援を実施し、地場産品の消費拡大と地産地消を促進します。		区 分	継続
			令和5年度	2,122 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	2,122,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,541,285 円	○ 農産物生産促進補助金：100,000円（10件） ○ 畜産防疫対策事業補助：527,000円（1件） ○ 産業まつり：490,000円			
事業成果		産業まつりの実施及び農産物生産促進補助により、農業の発展と生産性向上が図られた。また、豚熱ワクチンの補助により、畜産経営の安定を図ることができました。		課題	農業を振興する上で、農業従事者の高齢化が進んでいることから、担い手の確保が必要です。	
評価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 遊休農地対策事業や農業委員会運営事業等、関連する事業と連携を図りながら事業を継続します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標					
令和５年度 （2023年）までの 重要業績評価指標 （K P I）	新規イベント数		観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件		230万人/年 （2017年 218万人）	100万件/年 （2017年 60万件）	10%
位置付け	施策の 大綱	2 地域の特性を活かした産業振興と活性化の推進			
	基本目標	1 農林商工業の活性化による元気な村づくり			
	基本施策	2 基幹農業への支援			
計画事業 （予算事業）	203 農業委員会運営事業			担当部署	建設農林課
事業概要	農地法に係る許認可事務のほか、かけがえのない農地と担い手を守るとともに、遊休農地対策等農地の利用の最適化を推進し、遊休農地の解消や新規就農者の発掘・育成等を図ります。			区 分	継続
				令和５年度	1,772 千円
				令和６年度	予算編成時協議
				令和７年度	

事業実績						
事業費	予算現額	1,697,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,655,103 円	農業者の公的代表的機関として、農地法等の法令業務の厳正かつ的確な執行を図るとともに、本村農政の現状と将来の課題について農家の意向を踏まえ、関係機関への要望を行いました。また、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定手法を活用した遊休農地等のあっ旋、村就農予備校研修事業等新たな農業担い手の発掘、育成等を行いました。			
事業成果		農業委員会において農地等の利用の最適化の推進に資することができました。		課題	新たな担い手の発掘や新規就農者のあっせんを含め、遊休・荒廃農地対策の推進が必要です。	
評価				<div>B</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 農業の担い手への農地利用の集約化や遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等農地の利用の最適化を推進します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	○
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	○
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和５年度 （2023年）までの 重要業績評価指標 （K P I）	新規イベント数		観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率	
	10件		230万人/年 （2017年 218万人）	100万件/年 （2017年 60万件）	10%	
位置付け	施策の 大綱	2 地域の特性を活かした産業振興と活性化の推進				
	基本目標	1 農林商工業の活性化による元気な村づくり				
	基本施策	2 基幹農業への支援				
計画事業 （予算事業）	204 遊休農地対策事業			担当部署	建設農林課	
事業概要	遊休農地や荒廃農地対策として、新たに農地の利活用や耕作放棄地の再生利用等を研究する清川村農地活性化協議会を設置し、農地の活性化や新たな特産農作物の検討を行います。また、農地の貸し借りを奨励する流動化奨励金や農地バンク制度を推進し、遊休農地の解消を図ります。			事業費	区 分	拡充
					令和５年度	192 千円
					令和６年度	予算編成時協議
					令和７年度	

事業実績						
事業費	予算現額	132,000 円	主な実績内容			
	決算額	15,068 円	清川村農地活性化協議会の設置により、遊休農地対策の検討に向けて関係機関と情報共有することができました。 また、研修農場の運営により農業の担い手となり得る7名が耕作を継続することができました。			
事業成果		研修農場利用者：7名 農地の利用権設定：9組（6940.52㎡）	課題	不耕作地の減少に寄与している有効な事業であるものの、高齢化等による耕作放棄も常態化しており、対策を着実に推進する必要があります。		
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 引き続き担い手の確保及び育成並びに担い手と農地の貸し手とのマッチングを推進します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
			廃止			

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標					
令和５年度 （2023年）までの 重要業績評価指標 （K P I）	新規イベント数		観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件		230万人/年 （2017年 218万人）	100万件/年 （2017年 60万件）	10%
位置付け	施策の 大綱	2 地域の特性を活かした産業振興と活性化の推進			
	基本目標	1 農林商工業の活性化による元気な村づくり			
	基本施策	2 基幹農業への支援			
計画事業 （予算事業）	205 茶業活性化支援事業			担当部署	建設農林課
事業概要	村の基幹農業の一つである茶業の振興のため、チャピュア清川が管理する大型茶園に設置した茶防霜施設や茶特有の害虫に対する薬剤散布費への支援を行い、茶業の生産性向上を図ります。			区 分	継続
				令和５年度	264 千円
				令和６年度	予算編成時協議
				令和７年度	

事業実績						
事業費	予算現額	159,000 円	主な実績内容			
	決算額	159,000 円	○ 茶防霜施設整備費償還金等補助金：1件（81.0a） ○ 茶病虫害等被害対策事業補助金：1件（28.0a）			
事業成果		防霜施設及びクワシロカイガラムシ防除の補助により、基幹作物である茶の生産性向上と経営の安定化を図ることができました。		課題	茶生産者の高齢化による担い手不足及び荒茶の買い取り価格下落により、茶生産をやめる生産者が増加しています。	
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 茶の晩霜被害防止及びクワシロカイガラムシによる茶樹被害を防止するため、継続して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	また、茶業維持のため、茶の価格対策として販路拡大に向けた対策及び担い手を検討します。
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	○
		B	7	B どちらかと言うと有効	
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B 80%以上	
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和 5 年度 (2023 年) までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規イベント数		観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率	
	10 件		230 万人/年 (2017 年 218 万人)	100 万件/年 (2017 年 60 万件)	10%	
位置付け	施策の 大綱	2 地域の特性を活かした産業振興と活性化の推進				
	基本目標	2 観光資源を活用した魅力あふれる村づくり				
	基本施策	1 宮ヶ瀬湖を中心とした観光の振興				
計画事業 (予算事業)	206 宮ヶ瀬地区観光施設管理事業			担当部署	建設農林課	
事業概要	村の観光拠点である宮ヶ瀬地区に整備した公共施設及び虹の妖精、プロムナード霧噴水等の観光施設等の適正な維持管理を行います。また、宮ヶ瀬湖畔園地内の村関係施設の安定的な運営のため、県と共同で老朽化した設備の更新工事を行い、施設利用者の利便性向上と観光客の誘致・誘導を推進します。			事業費	区 分	継続
					令和 5 年度	3,701 千円
					令和 6 年度	予算編成時協議
					令和 7 年度	

事業実績						
事業費	予算現額	7,344,000 円	主な実績内容			
	決算額	6,827,438 円	プロムナード霧噴水及び大噴水「虹の妖精」、観光公衆トイレ（宮の平・水の郷）の適正な維持管理及び施設改修工事等を実施しました。			
事業成果		各観光施設の適正な管理により観光客の利便性向上を図ることができました。		課題	施設の老朽化における設備の修繕や改修工事等の増加が見込まれます。	
評価				<div>B</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 引き続き観光客増加や地域経済の活性化のため、施設利用者ニーズに対応した利便性や快適性の向上を図る必要があるため、継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件	230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)	10%
位置付け	施策の 大綱	2 地域の特性を活かした産業振興と活性化の推進		
	基本目標	2 観光資源を活用した魅力あふれる村づくり		
	基本施策	4 村の観光資源のPR		
計画事業 (予算事業)	207 観光対策事業		担当部署	建設農林課
事業概要	来訪する観光客への情報提供や、各種協議会と一体となった観光キャンペーンなどを実施し、村の観光PRを行います。また、宮ヶ瀬湖周辺地域を中心とした観光イベントや各種実行委員会等の支援を行い、観光客や関係人口の増加に努め、地域経済の活性化を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	20,150 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	19,795,000 円	主な実績内容			
	決算額	19,771,211 円	○マスコットキャラクターグッズ製作業務（Tシャツ・キャップ・ブランケット・ボールペン） ○宮ヶ瀬桜まつりは通常開催、宮ヶ瀬ふるさとまつりは日程を分散し開催、宮ヶ瀬クリスマスについては通常開催通り開催しました。			
事業成果		定期的な観光PRや情報発信、イベントの開催により、来訪者増加に寄与することができました。		課題	宮ヶ瀬地区イベントについて、実行委員会との連携を通じ、運営手法の見直しや、更なる関係人口増加に向けた新たな集客効果のあるイベントの取り組みを検討していく必要があります。	
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 PR手法について、新たな媒体の活用を検討し、効果的な認知度の向上を図る必要があるため、継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件	230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)	10%
位置付け	施策の 大綱	5 村民と行政が築く村政の推進		
	基本目標	1 村民みんなで築く自治の村づくり		
	基本施策	5 広報広聴活動の充実		
計画事業 (予算事業)	208 広報広聴事業		担当部署	総務課
事業概要	村政情報等を幅広く提供するため、広報紙の発行やホームページによる情報発信を行うとともに、多様な実施形態による住民懇談会や「村長への手紙」等の広聴活動により、村民の意見及び要望を広く聴くことで、協働による村政運営を推進します。		区 分	継続
			令和5年度	6,058 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事 業 実 績				
事業費	予算現額	4,586,485 円	主な実績内容	
	決算額	4,586,485 円	広報紙「きよかわ通信」を発行し、村の事業や施策などの村政情報を広く周知し、村民の村政への参加を促進するとともに、意見・提案等を伺うため、広聴活動（村長への手紙、住民懇談会）を実施し、村民参加の村づくりと村民の声を活かした行政運営に努めました。	
事業成果		広報紙「きよかわ通信」を年12回発行し、適切に村政情報を周知しました。 村民の声を活かした行政運営を目指し、意見・要望を反映させるための仕組みを活用し、村政への参考としました。	課 題	ホームページのアクセス件数が伸び悩んでいることから、より豊富な情報をわかりやすく伝える工夫が必要です。
評 価			今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡 大	<b>【理由】</b> 村の事業や施策などの村政情報を効果的に周知するため、継続して実施するほか、新たな機能の導入や広報紙のホームページ公開なども含め、効果の検証を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統 合	
			廃 止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 目標管理シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)

目 標 達 成 度				
年度／区分	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
令和元年度 (2019年)	4戸	9人	27%	6件
令和2年度 (2020年)	1戸	27人	33%	12件
令和3年度 (2021年)	1戸	18人	33%	6件
令和4年度 (2022年)	1戸	16人	33%	1件
令和5年度 (2023年)	1戸	26人	16%	8件
計	8戸	96人	16%	33件

事 業 実 績			
計画事業（予算事業）		評価	今後の方向性・方針
301	路線バス利用促進事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
302	地籍調査事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
303	村営住宅管理運営基金費	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
304	借上型村営住宅推進事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
305	住宅取得支援事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
306	空き家対策事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
307	水源環境保全再生事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
308	鳥獣被害対策事業	A	拡大 概ね適切であり、拡大して実施します
309	広域獣害防止柵管理事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します

事業実績			
計画事業（予算事業）	評価	今後の方向性・方針	
310 猟区運営事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
311 ヤマビル被害防除対策事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
312 簡易水道事業特別会計	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
313 簡易水道事業特別会計繰出金	B	見直し	概ね適切であるが、見直し実施します
314 下水道事業特別会計	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
315 下水道事業特別会計繰出金	B	継続	課題があるが、継続して実施します
316 生活交通確保対策事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
317 地震等防災対策事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
318 財産管理事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
319 防災施設・設備維持管理事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
320 臨時ヘリポート管理事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します

達成状況に対する評価	
新規の賃貸住宅（空き家含む）・分譲地供給数	空き家や民間事業者を活用した住宅や分譲地の供給促進が必要です。
移住・定住促進施策による新規転入者数	物件の供給と併せ、各種補助制度などについて村外への周知を一層強化する必要があります。
防災訓練参加者率	自然災害が激甚化・頻発化している中で、更なる防災意識の向上に向けた手法を検討する必要があります。
野生鳥獣被害防止柵等設置事業補助金利用件数	目標達成度としては110%となったことから、鳥獣被害対策を図ることができたと言えます。しかしながら、当該結果は、鳥獣被害が引き続き発生していることも示していることでもあると言えます。

目標指針の今後の方向性・方針	
新規の賃貸住宅（空き家含む）・分譲地供給数	空き家などの資源の活用や民間との連携による新たな取組みなど、所有者の空き家提供意欲を高める仕組みの構築が必要です。
移住・定住促進施策による新規転入者数	空き家などの資源を最大限に活用するとともに、住宅取得に係る補助制度や移住者支援メニューを広く周知することで、新規転入数の増加を目指します。
防災訓練参加者率	防災意識の向上による「自助」「共助」の強化と、「公助」機能の強化により地域防災力を強化します。
野生鳥獣被害防止柵等設置事業補助金利用件数	鳥獣被害は継続して発生しており、また、野生鳥獣被害防止柵等の設置についても問い合わせが続いている。 このことから、有害鳥獣捕獲等の鳥獣被害対策と併せて補助を継続します。
【備 考】	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和 5 年度 (2023 年) までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規の賃貸住宅 (空き家含む) ・ 分譲地供給数		移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数	
	30 戸		200 人	25% (2017 年 21%)	30 件 (2017 年 6 件)	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	4 暮らしを支える利便性の高い村づくり				
	基本施策	1 公共交通の確保・充実				
計画事業 (予算事業)	301 路線バス利用促進事業			担当部署	政策推進課	
事業概要	路線バスの通勤定期券を利用して通勤している方を対象に、定期券 購入費の一部を補助することで路線バスの利用を促進し、既存路線を 維持するほか、経済的負担の軽減、環境負荷の低減を図ります。			事業 費	区 分	新規
					令和 5 年度	1,215 千円
					令和 6 年度	予算編成時協議
					令和 7 年度	

事 業 実 績						
事業費	予算現額	153,000 円	主な実績内容			
	決算額	137,000 円	申請者数 3名 申請件数 19件 補助金額 137,000円			
事業成果	通勤定期券購入費の一部を補助することにより、申請者の経済的負担の軽減と、路線バスの利用促進を図ることができました。		課題	申請者の負担軽減のため、同一年度内の2回目以降の申請において、住所や勤務先等の変更が無い場合の提出書類の見直しが必要です。		
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		<b>【理由】</b> 今後も通勤定期券利用者の経済的負担の軽減と路線バスの利用を促進するため、継続して取り組んでまいります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	302 地籍調査事業		担当部署	村づくり観光課
事業概要	国土調査法に基づき一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積の測量を実施し、災害復旧の迅速化や土地境界をめぐるトラブルを未然に防止します。		事業費	区 分
				継 続
				令和5年度
				6,718 千円
				令和6年度
				予算編成時協議
				令和7年度

事 業 実 績					
事業費	予算現額	6,655,000 円	主な実績内容		
	決 算 額	6,653,832 円	国土調査法等に基づき災害により土地の形状が変わってしまった場合の早期復旧や土地境界を巡るトラブル防止等のため、村地籍調査事業個別計画にて定めた第1位重点地区の清水ヶ丘団地地区（第1工区）について地籍調査を行いました。		
事業成果		地籍調査を行うことで成果が登記所所有情報（登記簿、地図の更新等）に反映され、固定資産税算出の際の基礎情報となるなど様々な行政事務の基礎資料として活用されました。	課 題	地籍調査を行うに当たり、継続性等を踏まえた研究を行う必要があります。	
評 価			<div>B</div> <div></div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<div>【理由】</div> <div>村地籍調査事業個別計画を定めているため、当該計画に基づいた調査を行う必要があるため、継続して実施します。</div>
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合	
				廃 止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		○
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		○
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和５年度 （2023年）までの 重要業績評価指標 （K P I）	新規の賃貸住宅 （空き家含む）・ 分譲地供給数		移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数	
	30戸		200人	25％ （2017年 21％）	30件 （2017年 6件）	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	4 移住・定住促進施策の充実				
計画事業 （予算事業）	303 村営住宅管理運営基金費			担当部署	村づくり観光課	
事業概要	村営住宅（一般住宅、子育て世代型住宅）の入居者から徴収する使用料のうち必要経費を差し引いた余剰金を積み立て、将来的な住宅の修繕工事等に備えます。			事業費	区 分	継続
					令和５年度	12,798 千円
					令和６年度	予算編成時協議
					令和７年度	

事 業 実 績					
事業費	予算現額	9,300,000 円	主な実績内容		
	決 算 額	9,300,000 円	村営住宅（一般住宅・子育て世代型住宅）の入居者より預かる使用料等から施設維持に係る必要経費を差し引いた余剰金について、今後の施設更新等に要する資金として積み立てを行いました。		
事業成果		村営住宅入居者より預かる使用料から施設維持に係る必要経費を差し引いた余剰金を積み立てることで計画的かつ継続的な経営ができ、将来の施設更新等に備えることができました。	課 題	築年数が古く老朽化が進んでいる施設が多いことから、今後修繕の件数増加が見込まれるため、退去時の大規模修繕等計画的に行っていく必要があります。	
評 価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<b>【理由】</b> 引続き基金の積み立てを行うことで、計画的かつ継続的な財政運営を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合	
				廃 止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	○
		B	7	B どちらかと言うと高い	
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B 80%以上	
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	4 移住・定住促進施策の充実		
計画事業 (予算事業)	304 借上型村営住宅推進事業		担当部署	村づくり観光課
事業概要	村民が所有する土地に建築する一定の整備基準を満たす住宅を村が 村営住宅として15年間借り受け、若年層で子どもを扶養する方に優先 して転貸することで村内の地域活性化や移住・定住促進を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	8,747 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績					
事業費	予算現額	8,747,000 円	主な実績内容		
	決算額	8,441,163 円	村民が自ら所有する土地に整備基準を満たした住宅を建築した際に村が当該住宅を村営住宅として借上げ、村内に居住を希望する方に転貸し、適正な管理運営を行いました。 戸数：7戸		
事業成果	村営住宅として借り受け、村への移住・定住を希望する方に対し転貸することで、人口増もって地域活性化を図ることができました。		課題	令和7年度以降、住宅所有者であるオーナーとの賃貸借契約が順次満了を迎えることから、今後事業の見直し及び代替事業の研究が必要です。	
評価			<div>B</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	<div>【理由】</div> <div>村営住宅として借り受け、村への移住・定住を希望する方に対し転貸することで、村内への移住・定住施策の安定、もって人口増、地域活性化を図ることが見込まれるため継続します。</div>
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	
				廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	○
		B	7	B どちらかと言うと有効	
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	4 移住・定住促進施策の充実		
計画事業 (予算事業)	305 住宅取得支援事業		担当部署	村づくり観光課
事業概要	村内で住宅を取得した方への一部助成や住宅の新築・増改築・購入等のために金融機関から融資を受けた方への利子補給金の交付等住宅取得に対する支援を行い、移住・定住促進及び地域経済の活性化を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	8,414 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	9,846,000 円	主な実績内容			
	決算額	9,306,600 円	村内において新築または中古住宅を取得した方に対し、次のとおり支援を行いました。 住宅取得奨励金 10件 7,900,000円 勤労者等住宅資金利子補給金 23件 1,399,600円			
事業成果		村への移住・定住を決めた方に対し支援を行ったことで人口増をもって地域活性化を図ることができました。	課題	村への移住・定住を希望する方に対し、更なる制度の認知度を上げるとともに人口増を図るべく情報発信が必要です。		
評価			A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 魅力ある制度として情報を提供することで、村へ移住・定住を希望する方に対し、興味をもっていただき、将来の人口増をもって地域活性化に資するため継続します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和 5 年度 (2023 年) までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規の賃貸住宅 (空き家含む) ・ 分譲地供給数		移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数	
	30 戸		200 人	25% (2017 年 21%)	30 件 (2017 年 6 件)	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	4 移住・定住促進施策の充実				
計画事業 (予算事業)	306 空き家対策事業			担当部署	村づくり観光課	
事業概要	所有者や入居者が賃貸用住宅としてリフォームする費用、家財道具 処分費の一部補助を行うほか、所有者が空き家等を解体し、売地とす る場合の費用を一部補助し、適正に管理されなくなった空き家の利活 用を推進し、地域活性化や移住・定住促進を図ります。			事業 費	区 分	拡充
					令和 5 年度	1,012 千円
					令和 6 年度	予算編成時協議
					令和 7 年度	

事 業 実 績				
事業 費	予算現額	957,000 円	主な実績内容	
	決 算 額	950,899 円	村内の空き家の情報収集をはじめ、所有者や入居者に対し、空き家への支援制度等の情報 提供を行い空き家の有効活用を促し、村内への移住・定住の推進に努めました。 空き家賃貸用住宅リフォーム補助金 1件 432,000円 空き家解体費補助金 1件 500,000円	
事業成果		空き家所有者や入居者に対し、情報提供しまし た。利用者は2件ありました。	課 題	空き家の所有者や入居者に対し、当該事業を活用いた だけるよう更なる広報周知を図り、空き家の有効活用 もって人口増につなげる必要があります。
評 価			今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡 大	【理由】 空き家の有効活用もって人口 増につなげる必要があるため、 継続します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要 な事業		継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要 な事業		見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、 統合や廃止を検討する事業		統 合	
			廃 止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標					
令和５年度 （2023年）までの 重要業績評価指標 （K P I）	新規の賃貸住宅 （空き家含む）・ 分譲地供給数		移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸		200人	25％ （2017年 21％）	30件 （2017年 6件）
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進			
	基本目標	2 自然を守り、次世代に引き継ぐ村づくり			
	基本施策	1 豊かな水源環境の維持			
計画事業 （予算事業）	307 水源環境保全再生事業			担当部署	建設農林課
事業概要	県民税の超過課税である水源環境保全税を財源として、水源環境保全・再生第４期実行５か年計画に基づき、地域水源林エリア内の私有林及び水源の森林エリア内の村有林整備を行い、良質な水の安定的確保及び生物多様性の保全を図ります。			区 分	継続
				令和５年度	84,621 千円
				令和６年度	予算編成時協議
				令和７年度	

事業実績						
事業費	予算現額	82,121,000 円	主な実績内容			
	決算額	80,205,181 円	○ 森林整備 字八幡15.9ha、字大久保沢外11.95ha、字金沢9.24ha ○ 調査業務 字根岸ノ上11.33ha、字舟沢15.41ha、字金沢7.20ha			
事業成果		森林の持つ公益的機能の向上及び良好な自然環境の保全を図ることができました。		課題	森林整備で発生した間伐材の搬出が補助対象外となっており、台風や豪雨時の間伐材流出が懸念される。また、ナラ枯れによる倒木が散見され、人的被害等への影響が懸念されます。	
評価				<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 水源地域の役割として、水源涵養など森林が持つ公益的機能を向上させる取り組みを継続します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	2 自然を守り、次世代に引き継ぐ村づくり		
	基本施策	4 鳥獣被害等防止対策の実施		
計画事業 (予算事業)	308 鳥獣被害対策事業		担当部署	建設農林課
事業概要	県猟友会清川支部と連携し、鹿や猪等の有害鳥獣に対して銃器、箱 わな、くくりわな及び囲いわなを使用した捕獲及び追い払いを実施す るほか、農地耕作者が鳥獣被害対策として設置する電気柵等の資材購 入費支援を行い、農作物被害や生活被害の防止を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	6,452 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	5,758,000 円	主な実績内容			
	決算額	5,190,698 円	○ 捕獲頭数：シカ103頭、イノシシ18頭、サル4頭、小動物9頭 ○ ニホンザル追払い等：追払い延べ105日、監視延べ65日 ○ 野生動物被害柵等設置補助：防護ネット2件、電気柵6件			
事業成果		有害鳥獣の捕獲や追払い及び野生動物被害柵等設置補助などを実施したことにより、農作物被害及び生活被害の軽減に寄与することができました。	課題	有害鳥獣の捕獲に努めているが、生息数は減少していない。また、有害鳥獣駆除等の従事者が徐々に高齢化しており、従事者を確保する必要があります。		
評価			<div>A</div> <div></div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	○	【理由】 農作物や生活被害軽減のため、有害鳥獣捕獲及び野生動物被害防護柵等設置補助を継続します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続		
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大	○	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続		
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	○
		B	7	B どちらかと言うと高い	
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	○
		B	7	B どちらかと言うと有効	
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B 80%以上	
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	2 自然を守り、次世代に引き継ぐ村づくり		
	基本施策	4 鳥獣被害等防止対策の実施		
計画事業 (予算事業)	309 広域獣害防止柵管理事業		担当部署	建設農林課
事業概要	煤ヶ谷地区に設置した約21kmの広域獣害防止柵を巡視し、適正な維持管理を行うことで広域的な鳥獣被害対策に努めるほか、地域ぐるみの鳥獣被害対策重点取組地区について、県や地域住民、関係地権者、猟友会などの関係機関と連携を図り、自主的な鳥獣被害の防止を推進します。		区 分	継続
			令和5年度	1,095 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績					
事業費	予算現額	1,072,000 円	主な実績内容		
	決算額	895,394 円	○ 既存広域獣害防止柵総延長 L = 21,488. 16m 巡視延べ4日、修繕延べ17日、補修箇所160箇所		
事業成果	既存獣害防止柵の修理により、鳥獣の進入を防ぎ、農作物被害及び生活被害の軽減を図ることができました。		課題	広域獣害防止柵巡視・修繕作業員の高齢化と既存広域獣害防止柵の老朽化及び倒木による破損が増加していることが課題です。	
評価				今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	理由
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	
			廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	2 自然を守り、次世代に引き継ぐ村づくり		
	基本施策	4 鳥獣被害等防止対策の実施		
計画事業 (予算事業)	310 狢区運営事業		担当部署	建設農林課
事業概要	村の自然環境を健全な生態系として維持するとともに、野生鳥獣による農作物被害及び生活被害を防止するため狢区を開設し、適正な管理運営を図ります。また、狢区の許可期限が令和5年10月31日をもって満了することから、更新申請を行います。		区 分	継続
			令和5年度	1,355 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	1,355,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,354,860 円	○ 猟区開猟日：令和5年11月15日から令和6年2月29日の日曜・祝日及び11月15日、2月29日の22日間 ○ 入猟者：シカ・イノシシ263人、その他鳥獣1人 ○ 狩猟実績：シカ（38頭）、イノシシ（1頭）			
事業成果	事故や狩猟違反等がなく猟区を開猟することができ、獣を捕獲したことで、農作物被害軽減に寄与することができました。		課題	天候の影響を受けやすいほか、入猟者が見込みより減少傾向にあるため、入猟者の確保が課題です。		
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		<b>【理由】</b> 猟区の開猟により、農作物等の被害軽減に寄与することができることから、事業を継続します。 また、入猟者等を確保するため、県猟友会が実施する新人ハンター研修に協力します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	2 自然を守り、次世代に引き継ぐ村づくり		
	基本施策	4 鳥獣被害等防止対策の実施		
計画事業 (予算事業)	311 ヤマビル被害防除対策事業		担当部署	建設農林課
事業概要	丹沢山地東部に多く生息し、人に対して吸血被害を及ぼすヤマビル被害防除のため、村民向けに殺ヒル剤及び忌避剤の助成販売を行います。また、住宅地への繁殖被害防止のため登山道出入口への殺ヒル剤及び忌避剤の設置を行うほか、草刈り機、殺ヒル剤及び散布機の無償貸与を行い、ヤマビル被害防除対策を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	412 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績							
事業費	予算現額	362,000 円	主な実績内容				
	決算額	349,430 円	○ 殺ヒル剤購入：120本（180ml）、5本（1,000ml）				
			○ 忌避剤購入：168本（135ml）、29本（500ml）				
			○ 草刈機貸与等：4回（草刈機）、2.5ℓ（散布機用殺ヒル剤）				
			○ 助成販売：84本（殺ヒル剤）、139本（忌避剤）				
事業成果		村民への殺ヒル剤・忌避剤販売、草刈機・殺ヒル剤、散布機の貸与及び登山道入口への殺ヒル剤、忌避剤の設置により、ヤマビル被害防除に寄与することができました。		課題	ヤマビルの生息数は減少しておらず、抜本的な解決策が見い出せないことが課題です。		
評価				A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 ヤマビル被害の防止のため、事業を継続します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	3 環境にやさしく快適で暮らしやすい村づくり		
	基本施策	4 安全でおいしい水の安定供給		
計画事業 (予算事業)	312 簡易水道事業特別会計		担当部署	環境上下水道課
事業概要	安全で安定した水道水の供給のため、水道施設や設備の適正な維持管理を行うとともに、老朽化が進んでいる箇所を更新し、施設の安定稼働及び適正な運転管理を行います。		区 分	継続
			令和5年度	131,770 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額		188,749,000 円	主な実績内容		
	決算額	92,891,131 円	配水管布設工事：ポリエチレン管布設 φ75 L=88.50m、給水管付替 2 箇所			
			配水管更新工事：ポリエチレン管布設 φ50 L=44.39m、φ75 L=191.68m、φ100 L=161.16m 給水管付替48箇所			
		配水管付替工事：ポリエチレン管布設 φ100 L=74.53m、φ200 L=183.04m、給水管付替 1 箇所				
事業成果		取水・導水・浄水・配水それぞれの施設および設備の円滑かつ適正な管理・運営を行い、安全・安心なおいしい水道水を継続して安定供給できました。		課題		人口減少や節水意識の高揚に伴う給水需要の減少をはじめ、施設・設備の老朽化に伴う更新需要の増大等経営環境が厳しさを増す中において、これまで以上に経営基盤の強化、財政マネジメントの向上を図る必要があります。
評価				A 	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 水道は、村民生活に直結する重要なインフラとして必要不可欠なものであり、今後も地方公営企業法の適用による公営企業会計を導入することで経営状況が把握しやすくなるため、引き続き中長期的な経営の姿を見通していく必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		○
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	3 環境にやさしく快適で暮らしやすい村づくり		
	基本施策	4 安全でおいしい水の安定供給		
計画事業 (予算事業)	313 簡易水道事業特別会計繰出金		担当部署	環境上下水道課
事業概要	簡易水道事業特別会計の適正な運営を図るため、一般会計からの繰 り出しを行います。		区 分	継続
			令和5年度	18,766 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績					
事業費	予算現額	20,157,000 円	主な実績内容		
	決算額	19,828,188 円	簡易水道事業特別会計への繰出し		
事業成果	一般会計から簡易水道事業特別会計へ繰出しを行うことで、簡易水道事業特別会計の適正な運営を図ることができました。		課題	本来、公営企業は、料金収入をもって経営を行う独立採算性が基本原則となっていることを踏まえ、令和6年度から3ヶ年で段階的に水道料金を改定していくが、引続き中長期的な経営状況を見通していくとともに、必要に応じて受益者負担を求めていく必要があります。	
評価			<div>B</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	<div>【理由】</div> <div>長期的に安定した事業運営を維持するためにより一層の経営の効率化・健全化を目指します。</div> <div>なお、令和6年度から地方公営企業法の適用による公営企業会計に移行することに伴い、これまでの一般会計上「繰出金」から「補助金」に変更となります。</div>
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	
				廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		令和6年度から地方公営企業法の適用による公営企業会計に移行することに伴い、繰出金から補助金に変更となる。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続		
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し	○	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C 改善の余地あり	○
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B 80%以上	
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	3 環境にやさしく快適で暮らしやすい村づくり		
	基本施策	5 下水道の適正な維持管理と水質の保全		
計画事業 (予算事業)	314 下水道事業特別会計		担当部署	環境上下水道課
事業概要	快適な住環境の確保と公共用水域の水質保全のため、下水道施設・設備の適正な維持管理を行うとともに、老朽化が進んでいる箇所の長寿命化を図り、施設の安定稼働及び適正な運転管理を行います。		区 分	継続
			令和5年度	497,186 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	433,523,000 円	主な実績内容			
	決算額	388,015,007 円	下水道施設長寿命化事業 ・下水道ストックマネジメント実施計画（第2期）策定業務委託 ・清川庄送センター自家発電設備更新工事 ・清川庄送センタースクリーンかす設備更新工事			
事業成果		下水道施設および設備の円滑かつ適正な管理・運営を行うとともに、長寿命化事業を実施し、安定的な施設稼働を図り、快適な住環境の確保と公共用水域の水質保全に努めることができました。	課題	人口減少や節水意識の高揚に伴う使用料収入の減少をはじめ、施設・設備の老朽化に伴う更新需要の増大等経営環境が厳しさを増す中において、これまで以上に経営基盤の強化、財政マネジメントの向上を図る必要があります。		
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 下水道は、村民生活に直結する重要なインフラとして必要不可欠なものであり、今後も地方公営企業法の適用による公営企業会計を導入することで経営状況が把握しやすくなるため、引き続き中長期的な経営の姿を見通していく必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		○
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	3 環境にやさしく快適で暮らしやすい村づくり		
	基本施策	5 下水道の適正な維持管理と水質の保全		
計画事業 (予算事業)	315 下水道事業特別会計繰出金		担当部署	環境上下水道課
事業概要	下水道事業特別会計の適正な運営を図るため、一般会計からの繰り出しを行います。		区 分	継続
			令和5年度	171,482 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事 業 実 績					
事業費	予算現額	154,616,000 円	主な実績内容		
	決 算 額	137,800,000 円	下水道事業特別会計への繰出し		
事業成果	一般会計から下水道事業特別会計へ繰出しを行うことで、下水道事業特別会計の適正な運営を図ることができました。		課 題	本来、公営企業は、料金収入をもって経営を行う独立採算性が基本原則となっていることを踏まえ、令和6年度から3ヶ年で段階的に下水道料金を改定していきますが、引き続き中長期的な経営状況を見通していくとともに、必要に応じて受益者負担を求めていく必要があります。	
評 価				今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 長期的に安定した事業運営を維持するため、より一層の経営の効率化・健全化に努める必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合	
			廃 止		なお、令和6年度から地方公営企業法の適用による公営企業会計に移行することに伴い、これまでの一般会計上「繰出金」から「補助金」に変更となります。

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		
		B	9	B どちらかと言うと高い		○
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		
		B	7	B どちらかと言うと高い		○
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		○
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	4 暮らしを支える利便性の高い村づくり		
	基本施策	1 公共交通の確保・充実		
計画事業 (予算事業)	316 生活交通確保対策事業		担当部署	政策推進課
事業概要	住民の日常生活における交通の利便性を確保するため、早朝及び深夜のバス運行に係る費用を補助します。		区 分	継続
			令和5年度	7,840 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	6,943,000 円	主な実績内容			
	決算額	6,942,137 円	・ 早朝深夜バス運行補助金      6,942,137円			
事業成果		早朝・深夜の運行経費を補助することにより、村民の生活交通の利便性向上を図りました。		課題	2024年問題により、バスの運転手不足が報じられている中で、村民の生活交通に支障が出ないよう検討していく必要があります。	
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	<b>【理由】</b> 生活交通の確保は、村民の関心も高く、また早朝・深夜のバスの運行は通勤・通学者等の利便性の向上が図られることから、継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	5 地域ぐるみの安全・安心な村づくり		
	基本施策	1 災害に強い地域基盤の整備		
計画事業 (予算事業)	317 地震等防災対策事業		担当部署	総務課
事業概要	自主防災隊の組織力の強化と自主防災隊を構成する村民各自の災害に対する更なる意識の高揚を図るため、村民が主体となった防災訓練を実施し、災害に強い村づくりを推進します。また、災害用備蓄品等を購入するほか、災害時協力井戸の登録制度を実施し、地震や風水害等の災害に備えます。		区 分	継続
			令和5年度	3,261 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事 業 実 績						
事業費	予算現額	3,261,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	2,789,630 円	村内各地区で地震に対する防災訓練を実施し、併せて各家庭の災害対応の確認やかながわシェイクアウトを行い、住民の防災意識の向上を図りました。			
事業成果		災害対応の確認やかながわシェイクアウトを実施し、防災体制の強化を図るとともに、村民の防災意識の向上と有事の際の対応強化を図ることができました。		課 題	住民各自が地震等の災害時における避難行動を速やかに実施できるよう訓練や更なる普及啓発を進める必要があります。	
評 価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	【理由】 各種訓練等の実施により、村民及び各自主防災隊との連携を図り、災害等における自助、共助の重要性を再認識するとともに、防災体制の強化や防災意識の向上のため、継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合	
					廃 止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	5 地域ぐるみの安全・安心な村づくり		
	基本施策	2 災害を防ぎ被害を減らす施設の機能強化		
計画事業 (予算事業)	318 財産管理事業		担当部署	総務課
事業概要	庁舎や庁用車等の適正かつ計画的な管理・運用を行い、公的サービスの安定した提供と村民の利便性向上を図ります。また、庁舎の防水工事を行うことで、防災・災害時支援の拠点としての機能強化を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	87,946 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績					
事業費	予算現額	77,693,000 円	主な実績内容		
	決算額	76,051,776 円	庁舎及び庁用車を適正に管理したほか、庁舎東側外壁の防水工事を実施しました。 また、来庁者等との相談や打合せを行う環境を整えるため、新たに打合せスペースを整備しました。		
事業成果	役場庁舎等及び庁用車両を適正に管理し、公的サービスの安定供給及び村民等の利便性の向上に適した環境を維持することができました。		課題	施設・設備の老朽化に伴い、維持管理費が増加傾向にあります。 維持管理経費の縮減及び環境への配慮を意識した更新に向け、検討していく必要があります。	
評価			<div>B</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	【理由】 行政運営を行っていく上で、
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	庁舎及び庁用車等の管理は必要不可欠であることから、引き続き
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	適切な維持管理に努めます。
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	
				廃止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		○
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		○
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		○
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	5 地域ぐるみの安全・安心な村づくり		
	基本施策	2 災害を防ぎ被害を減らす施設の機能強化		
計画事業 (予算事業)	319 防災施設・設備維持管理事業		担当部署	総務課
事業概要	防災体制に万全を期すため、防災行政無線や気象観測装置等の防災施設の維持管理と、メール配信サービスやホームページ等を活用した情報の配信体制の機能維持を図ることで、災害時における情報の伝達体制を確保します。		区 分	継続
			令和5年度	7,013 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事 業 実 績					
事業費	予算現額	7,044,000 円	主な実績内容		
	決 算 額	6,931,325 円	防災施設・設備の保守業務を実施し、機能維持を図りました。 (1)防災行政無線、総合気象観測装置及び全国瞬時警戒システムの保守点検業務。 (2)防災倉庫機械警備業務及び防災倉庫周辺草刈り業務など。		
事業成果	防災施設・設備の保守業務を実施し、有事の際に活用できるよう機能維持を図りました。		課 題	防災行政無線の更新や難聴地域の解消に向けた検討を行う必要があります。	
評 価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 防災行政無線の更新に向け、新たな情報発信方法の導入など検討し、難聴地域の解消や情報伝達手段の多様化等に努めます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合	
			廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	5 地域ぐるみの安全・安心な村づくり		
	基本施策	2 災害を防ぎ被害を減らす施設の機能強化		
計画事業 (予算事業)	320 臨時ヘリポート管理事業		担当部署	総務課
事業概要	災害時及びドクターヘリの対応のため、臨時ヘリポート施設の維持管理を行います。また、消防団等の消防訓練及び操法訓練の訓練場として活用し、地域防災力の向上を目指します。		区 分	継続
			令和5年度	1,209 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	1,209,000 円	主な実績内容			
	決算額	484,548 円	臨時ヘリポート施設の維持管理を実施し、機能維持を図りました。 (1)臨時ヘリポート周辺草刈業務			
事業成果		ドクターヘリなどによる救急・救助出動時や災害等の救護活動において活用するため、施設の維持管理を実施し、機能維持を図ることができました。		課題	施設の維持管理のため、草刈り業務の代わりに、施設維持のための法面等への防草シートを敷くなどの施設管理を検討する必要があります。	
評価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 施設の必要性において、現状を維持するため、老朽化した箇所の修繕等を行うとともに、機能維持に努めます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 目標管理シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)

目 標 達 成 度				
年度／区分	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
令和元年度 (2019年)	1.51	0人	1件	幼9・小18・中17回/年
令和2年度 (2020年)	1.19	2人	0件	幼4・小3・中26回/年
令和3年度 (2021年)	1.22	0人	3件	幼3・小4・中23回/年
令和4年度 (2022年)	1.21	0人	3件	幼8・小15・中16回/年
令和5年度 (2023年)	1.21	0人	2件	幼13・小14・中15回/年
計	1.21	0人	9件	幼13・小14・中15回/年

事 業 実 績			
計画事業（予算事業）		評価	今後の方向性・方針
401	出産・子育て応援事業	A	拡大 概ね適切であり、拡大して実施します
402	子供・子育て会議運営事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
403	小児医療費助成事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
404	放課後児童クラブ運営事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
405	子育て支援事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
406	放課後子ども教室事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
407	保育所入所事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
408	幼稚園管理事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
409	確かな学力の育成推進事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
410	教育指導・相談事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
411	幼小中一貫校設置推進事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
412	中学校管理事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します

事業実績			
計画事業（予算事業）	評価	今後の方向性・方針	
413 給食センター管理事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
414 小学校管理事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
415 ICT教育推進事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
416 中学校教育振興事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
417 小学校教育振興事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
418 せせらぎ館管理運営事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
419 図書館管理運営事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
420 運動公園管理運営事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
421 清川やまびこマラソン大会	B	継続	課題があるが、継続して実施します
422 夏季プールー一般開放事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
423 文化振興事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
424 生涯スポーツ推進事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
425 生涯学習推進事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
426 文化伝承・文化財保護推進事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
427 青龍祭	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します

達成状況に対する評価	
合計特殊出生率	出生数は少ないが、合計特殊出生率は低下していない。
保育所待機児童数	保育の利用を希望する保護者に対し、利用調整を行い待機児童数0人を維持している。
新規生涯学習イベント数	参加者のニーズに合った事業の企画・指導者の確保。
幼・小・中の連携事業数	新型コロナウイルスが5類に移行し、感染症対策が緩和されたことにより、幼小の交流が増えた。どの校種も目標を達成する事ができた。


目標指針の今後の方向性・方針	
合計特殊出生率	妊娠前及び妊娠中の転入者の増加、第2子以降の出産の増加が期待できるよう、妊娠期から始まる伴走型支援の充実に努めたい。
保育所待機児童数	保育の利用を希望する保護者に対し、村内認可保育所及び小規模保育施設においてニーズに答えられる環境を継続していきたい。
新規生涯学習イベント数	清川らしいイベントの開催や参加者が魅力に感じる事業の推進。また、アンケートの結果や参加者数で事業の継続や廃止を検討していく。
幼・小・中の連携事業数	幼小中一貫校の開設に向け、さらに連携を進め、村独自の魅力ある清川らしい教育を目指します。
【備考】	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	401 出産・子育て応援事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	妊娠期から出産・子育てまでに必要な支援を一貫して行うための身近な相談体制を構築し、個々のニーズに即した支援につなぐ伴走型の相談支援と経済的支援を一体的に実施します。		区 分	新規
			令和5年度	964 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	964,000 円	主な実績内容			
	決算額	575,600 円	・親子開放デイ（10月～3月） 延べ87人 ・のびのび子育てサロン（10月～3月） 延べ12人 ・出産・子育て応援給付金（10月～3月） 7人			
事業成果		新規事業として親子開放デイを開始し、前期（4月～9月 59人）よりも利用者数が増加しています。 出産・子育て応援給付金は、妊娠届出数や新生児訪問数と同数となっています。	課題	のびのび子育てサロンは、利用者数が伸び悩んでいることから事業見直しが必要です。		
評価			A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	○	【理由】 本事業は、妊娠期から出産・育児の切れ目ない支援として、経済的支援とセットになった伴走型支援は、今後も充実させていく必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続		
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大	○	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続		
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	合計特殊出生率		保育所持機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数	
	1.42 (2017年 1.06)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)	
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進				
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり				
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備				
計画事業 (予算事業)	402 子ども・子育て会議運営事業			担当部署	子育て健康福祉課	
事業概要	第2期子ども・子育て支援事業計画の進行管理を行い、地域による子育て家庭の支援や子育てに対する負担や孤独感の解消等村の子どもが健やかに成長できる子育て支援環境の充実を図ります。また、教育・保育・子育て支援事業の拡充を図るため、次期計画の策定に向けたニーズ調査を実施します。			事業費	区 分	拡充
					令和5年度	2,493 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	2,115,731 円	主な実績内容			
	決算額	1,787,800 円	○清川村子ども・子育て会議の開催 ○「第3期清川村子ども・子育て支援事業計画」ニーズ調査の実施 ・対象者 就学前児童の保護者 81件 回収件数 56件 回収率 69.1%			
事業成果		「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づいた子育て支援施策を執行し幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援の充実を図ることができました。また、「第3期清川村子ども・子育て支援事業計画」策定に向け保護者のニーズを調査することができました。	課題	現在の子育て支援施策の継続と保護者の新たなニーズに対応する子育て支援施策や、幼児期の学校教育・保育の需要と供給に合わせた適切な環境整備が必要です。		
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	【理由】 幼児期の学校教育・保育の需要と供給に合わせた環境の整備や保護者のニーズに沿った子育て支援の充実が必要なため継続します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数	
	1.42 (2017年 1.06)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)	
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進				
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり				
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備				
計画事業 (予算事業)	403 小児医療費助成事業			担当部署	子育て健康福祉課	
事業概要	医療費（通院費・入院費）の助成対象を0歳～18歳までに拡大し、子育て世帯の経済的な負担をより一層軽減することで、子育てしやすい環境づくりを推進します。			事業費	区 分	拡充
					令和5年度	9,841 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	11,884,866 円	主な実績内容			
	決算額	11,833,398 円	○小児医療費助成事業 ・対象者（年度末現在）0歳児から満18歳を迎えた3月31日までの児童・生徒 316人 ・令和5年4月1日から通院費の対象年齢を満18歳を迎えた最初の3/31までに拡大			
事業成果		保険適用分の自己負担額を助成し、小児の健全育成が図られました。		課題	自治体独自の事業であるため、県外での受診時等において一時的に自己負担していただき償還払いするなど、経済的・事務的に利用者に負担が生じます。	
評価				<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			<b>【理由】</b> 子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、令和5年4月1日から通院費の対象年齢を満18歳を迎えた最初の3/31までに拡大したため、継続して事業を実施する必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	404 放課後児童クラブ運営事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	共働きや母子・父子家庭等放課後に家庭での保育を受けられない児童に対し、適切な遊び場と生活の場を提供することで、健全な育成及び子育ての支援を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	8,106 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	8,532,186 円	主な実績内容			
	決算額	7,776,958 円	○会計年度任用職員（支援員・指導員）報酬等 7,658,635円 ・入所児童 32人 ・開所日数 253日			
事業成果	放課後の家庭等において、保育を受けられない児童に対し、適切な遊び場と生活の場を提供することで、児童の健全な育成が図られました。		課題	感染対策等を考慮した場合や夏季休暇時に入所児童数が増加した際の活動スペースの確保などが課題となっています。		
評価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 利用者数に応じ、現状の体制を維持する必要があるため、継続して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		
		B	9	B どちらかと言うと高い		○
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		
		B	7	B どちらかと言うと高い		○
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	405 子育て支援事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	子育て家庭における生活の安定と経済的・生活的負担の軽減のため、子育て用品の購入費の一部を助成するほか、保護者の育児疲れの解消を目的に預かり保育の利用支援を行い、子育て家庭の生活上の安定と負担の軽減を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	2,754 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事 業 実 績				
事業 費	予算現額	2,754,000 円	主な実績内容	
	決算額	2,199,950 円	○子育て用品購入費助成金(4,500円/月)：対象者28人 1,062,000円 ○子育て世帯リフレッシュ事業業務委託料：対象者8人 8,400円 ○保育所等副食費支援補助金(4,700円/月)：対象者20人 1,053,650円	
事業成果		子育て支援用品を対象としたクーポン券の配布事業及びあおぞら保育園の一時預かり事業を利用可能な子育て世帯リフレッシュ事業を実施することで、家庭における生活の安定と経済的負担の軽減が図られました。また、保育所等副食費を補助することにより保護者の経済的負担の軽減を図ることができました。	課 題	出生人数の減少と保育所入所を希望する児童の増加により、子育てリフレッシュ事業の利用が少ないため、ニーズの把握と今後の事業の在り方の検討が必要です。
評 価			今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡 大	<b>【理由】</b> 子育て世帯リフレッシュ事業の事業の見直しが必要ではありますが、事業として希望する保護者もいることから他の2事業を併せ、継続していきます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統 合	
			廃 止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	406 放課後子ども教室事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	子どもたちの放課後の安全・安心な居場所づくりと学習の場を提供するため、主に生涯学習センター「せせらぎ館」を使用し、豊富な社会人経験を持つ人材を活用して、学習やスポーツ、体験を通じた教室を開催します。		区 分	継続
			令和5年度	1,236 千円
			令和6年度	
			令和7年度	

事 業 実 績						
事業費	予算現額	726,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	641,468 円	75回開催 延べ参加者数 783名			
事業成果		1回あたりの参加者数が微増しており、子どもたちの学齢に合った学習・体験活動が行えた成果だと考えます。		課 題	協働活動支援委員及び協働活動サポーターの確保が課題です。	
評 価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	【理由】 協働活動支援委員及び協働活動サポーターの確保が課題です。共働き世代が増加する中で、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を提供するため協働活動支援員及び協働活動サポーターの確保に努め、教室内容の充実と継続的な運営を図ります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合	
				廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	5 保育園の充実		
計画事業 (予算事業)	407 保育所入所事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	教育・保育無償化に伴う幼稚園の預かり保育や認可外保育所にかかる子育てのための施設等利用給付費を支給することで、子育てをする保護者の社会進出を支援します。		区 分	継続
			令和5年度	92,282 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	97,048,824 円	主な実績内容			
	決算額	95,473,456 円	○保育所入所委託料：対象者33人 65,762,630円			
			○施設型給付費負担金：対象者 6 人 3,892,762円			
			○地域型保育給付費負担金：対象者 5 人 11,140,570円			
事業成果		保育を実施するとともに、幼稚園の預かり保育事業や認可外保育施設等に係る子育てのための施設給付費を支給しました。入所児童の処遇の向上を図るため、施設運営費の助成を行いました。		課題	村内の認可保育所が定員に達することで年度途中の利用希望に対する調整が困難な場合や、入所希望者の年齢に偏りが生じることがあります。	
評価				<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 人口減少・少子化の抑制、移住・定住促進には子育て環境の充実が不可欠であり、子どもたちの健全な育成を図るため、継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	2 心豊かな清川っ子を育む村づくり		
	基本施策	1 幼稚園の充実		
計画事業 (予算事業)	408 幼稚園管理事業		担当部署	学校教育課
事業概要	幼稚園児の教育に適した環境を整えるため、施設の維持管理や教職員の資質向上のための研究会、研修会等を実施します。 また、就労やりフレッシュ、家族の看護や保護者の所要などを理由とした園児の保護者を対象とした預かり保育を実施します。		区 分	継続
			令和5年度	53,290 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績					
事業費	予算現額	49,196,000 円	主な実績内容		
	決算額	48,511,667 円	(1)園児数 25名（3歳児7名、4歳児11名、5歳児7名） (2)幼稚園型一時預かり保育実施日数 208日 利用園児数 延べ917名		
事業成果	幼稚園の運営及び施設の適正な維持管理を図り、園児が安心・安全な環境の中で教育を受けることができました。		課題	令和11年度に開校予定の「幼・小・中一貫校」に向け現在の施設での園児の安心・安全な環境を維持するため、適切な施設の維持管理が必要です。また、今後園児数の減少が予見されるため、あり方の協議が必要となります。	
評価			<div>A</div> <div></div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	<div>【理由】</div> <div>人口減少・少子化、移住促進、保護者の就労環境の変化には安心して子育てができる環境の充実が必要で、未来を担う子どもたちの重要な幼児期の教育環境を整え、実施する必要があります。継続して事業を行います。</div>
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	
				廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数	
	1.42 (2017年 1.06)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)	
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進				
	基本目標	2 心豊かな清川っ子を育む村づくり				
	基本施策	2 学校教育の充実				
計画事業 (予算事業)	409 確かな学力の育成推進事業			担当部署	学校教育課	
事業概要	人と人とのつながりや基礎的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するための思考力、判断力、表現力、その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養います。また、「ICT教育推進事業」と協働し、児童・生徒の学習への興味や関心を高め、個々の能力を伸ばし、分かりやすい授業や児童・生徒の主体的及び協働的な学びを実施します。			事業費	区 分	継続
					令和5年度	22,261 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	13,216,000 円	主な実績内容			
	決算額	12,224,118 円	(1)学習指導員の派遣（村費） 緑小1人、宮小2人、緑中2人、宮中2人			
			(2)きよかわ学びづくり推進事業における各校内研究会の実施 15回 (3)学校司書の派遣（村費） 1名週5日勤務（令和3年度までは週3日） (4)基礎基本確認テストの実施 1月(小4~6及び中1・2)			
事業成果		本事業を実施したことにより、人と人とのつながりや基礎的な知識や技能を確実に習得することで思考力、判断力、表現力等を育み主体的に学習に取り組む態度を養いました。また、学校司書の配置日数を増加したことで読書活動を通した読解力の向上につなげ、図書室を活用した学習活動の充実を図ることができました。	課題	学校の円滑な運営を図り、様々な学習活動を運営すること、また、各学校において特に力を入れる教科活動を積極的に進めていくためには、学習指導員の人材確保を継続する必要があります。		
評価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 個々に応じた学習の展開、小学校及び中学校の学級における教科学習、児童・生徒の生活支援等への適切な人材の確保、また学力向上のために必要な環境を適切に整える必要があるため、継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
			廃止			

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数	
	1.42 (2017年 1.06)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)	
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進				
	基本目標	2 心豊かな清川っ子を育む村づくり				
	基本施策	2 学校教育の充実				
計画事業 (予算事業)	410 教育指導・相談事業			担当部署	学校教育課	
事業概要	訪問教育相談員による保護者からの相談、学校訪問による在籍児童・生徒の授業及び生活態度等の確認を行いながら、各学校のコーディネーターを中心に学校長を含めた教員との話し合いで個々の対応について検討します。また、特別支援巡回相談では、各学校、幼稚園で学期毎に臨床心理士の巡回を行い、学校の支援体制や方法を必要に応じて専門的な助言をします。			事業費	区 分	継続
					令和5年度	5,047 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	4,961,000 円	主な実績内容			
	決算額	4,918,803 円	(1)指導主事及び訪問教育相談員 相談件数 来所31回 学校訪問62回			
			(2)特別支援巡回相談員 幼稚園・小学校・中学校巡回 (3)スクールカウンセラー（臨床心理士）派遣（県予算） 緑中学校・緑小学校40日280時間、宮ヶ瀬中学校・宮ヶ瀬小学校42日280時間			
事業成果		学校教育の推進を図るため、専門的事項の指導助言を行うとともに、保護者からの相談への対応や必要に応じて学校訪問を行い、個々の対応について助言を行いました。また、児童・生徒が相談ができる体制の充実を図りました。	課題	特別な支援が必要な児童・生徒が園・各学校ともに増加傾向にあるため、個々のケースに応じた支援体制を強化する必要があります。また、園・各学校及び関係機関との連携強化を図る必要があります。		
評価			A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 特別な支援が必要な児童・生徒が増加傾向にあり、様々な
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	ケースに対応する支援体制の整備
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		が必要です。また、各学校の支援担当のコーディネーターの
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		支援も必要なことから、事業を継続して事業を行います。
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数	
	1.42 (2017年 1.06)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)	
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進				
	基本目標	2 心豊かな清川っ子を育む村づくり				
	基本施策	3 地域・家庭との連携による幼児教育・学校教育の向上				
計画事業 (予算事業)	411 幼小中一貫校設置推進事業			担当部署	学校教育課	
事業概要	令和2年度に決定した「清川にひとつの 清川らしい幼・小・中 が、一体となった新しい一貫校をつくりあげる」という方針に基づ き、保護者、教職員、地域の方々、学識経験者や専門家による「清川 村幼・小・中学校施設整備検討委員会」及び小中学校教諭・幼稚園教 諭・保育士による「幼・小・中施設整備検討委員会教育推進部会」を 引き続き開催するとともに、新たに「幼・小・中一貫校施設整備基本 計画」を策定します。			事業 費	区 分	継続
					令和5年度	5,254 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	5,841,000 円	主な実績内容			
	決算額	162,760 円	(1)幼小中一貫校施設整備検討委員会の開催 3回 検討委員会は、学校関係者、地域関係者、保育園、幼稚園、小・中学校の保護者及び公募委員で構成 (2)清川村幼稚園小学校中学校施設整備基本構想策定			
事業成果		清川村幼小中一貫校施設整備検討委員会を開催し、清川村幼稚園小学校中学校一貫校施設整備基本構想をまとめました。	課題	幼小中一貫校施設整備基本計画の策定、開校までのスケジュール等の提示等、積極的に事業を進める必要があります。また、委員等を対象とした先進地への視察を実施する必要があります。		
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 未来を担う子どもたちの重要な教育環境を整えるため、清川らしい幼・小・中が一体となった新しい一貫校の建設に向け、継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	2 心豊かな清川っ子を育む村づくり		
	基本施策	4 学校教育環境の整備		
計画事業 (予算事業)	412 中学校管理事業		担当部署	学校教育課
事業概要	中学校は、小学校における教育基礎の上に心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的としており、在籍する生徒に適した環境を整えるために施設の維持管理ほか、研究会や研修会等を実施することで教職員の資質向上を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	20,801 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	19,911,000 円	主な実績内容			
	決算額	19,553,036 円	(1)生徒数 緑中学校56名 宮ヶ瀬中学校 3名			
			(2)物価高騰等に対する子育て世代への支援として修学旅行費補助金を 1 人15,000円に増額し支給 支給実績 25名 375,000円			
事業成果		施設の維持管理及び必要な工事を実施することにより生徒が安心・安全な環境で学校生活を過ごす環境を整えることができました。また、原油価格や物価高騰等に対する子育て世代への支援を行うことができました。	課題	施設の老朽化とともに、工事や修繕の箇所が増加しています。生徒の安心・安全な環境を維持するため、適切な施設の維持管理が必要です。		
評価			<div></div> <div>A</div> <div></div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 生徒の教育に適した安心・安全な環境を整備・維持するため。継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標						
令和５年度 （2023年）までの 重要業績評価指標 （K P I）	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数	
	1.42 (2017年 1.06)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)	
位置付け	施策の 大綱	4    誇りを持って村を支える人づくりの推進				
	基本目標	2    心豊かな清川っ子を育む村づくり				
	基本施策	4    学校教育環境の整備				
計画事業 （予算事業）	413    給食センター管理事業			担当部署	学校教育課	
事業概要	給食は、学校教育活動の一環として実施されるもので、園児・児童・生徒が身体的・精神的にも大きく成長する時期に栄養バランスの取れた給食を取ることを通じて、食教育の充実を図ります。また、施設の衛生的な環境を維持するための清掃や各種検査を実施し、安全でおいしい給食の提供を行います。			事業費	区 分	継続
					令和５年度	25,545 千円
					令和６年度	予算編成時協議
					令和７年度	

事業実績						
事業費	予算現額	25,318,000 円	主な実績内容			
	決算額	24,583,145 円	(1)職員数 栄養技師（県費）1名 調理員5名 事務員1名 (2)給食数 47,173食 1日あたり254食			
事業成果		園児・児童・生徒に美味しく栄養バランスの取れた食料を提供し、食教育の充実を図るとともに、季節に応じて村内で採れる野菜等を生産者より購入し使用しました。また、施設の衛生的な環境を維持しました。	課題	様々な要因による食材費の急激な高騰への対応、給食の品質の維持、また施設の老朽化への対応などが課題となっています。		
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 給食は学校教育活動の一環として実施されるもので、園児・児童・生徒が身体的にも精神的にも大きく成長する時期に大切な役割を担っているため、継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	2 心豊かな清川っ子を育む村づくり		
	基本施策	4 学校教育環境の整備		
計画事業 (予算事業)	414 小学校管理事業		担当部署	学校教育課
事業概要	小学校は、心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的としており、在籍する児童の教育に適した環境を整えるため、施設の維持管理のほか、研究会や研修会等を実施することで教職員の資質向上を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	19,516 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績					
事業費	予算現額	18,528,000 円	主な実績内容		
	決算額	17,383,753 円	(1)児童数 緑小学校109名 宮ヶ瀬小学校 5名 (2)物価高騰等に対する子育て世代への支援として修学旅行費補助金を 1 人10,000円支給 支給実績 15名 150,000円		
事業成果		施設の維持管理及び必要な修繕を実施することにより、児童が安心・安全な環境で学校生活を過ごす環境を整えることができました。また、原油価格や物価高騰等に対する子育て世代への支援を行うことができました。		課題  施設の老朽化とともに、工事や修繕の箇所が増加しています。児童の安心・安全な環境を維持するため、適切な施設の維持管理が必要です。	
評価				今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		A	拡大	【理由】 児童の教育に適した安心・安全な環境を整備・維持するため。継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	
			廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	2 心豊かな清川っ子を育む村づくり		
	基本施策	4 学校教育環境の整備		
計画事業 (予算事業)	415 ICT教育推進事業		担当部署	学校教育課
事業概要	タブレット端末を学校教育へ導入して5年目を迎えることから、さらなるICT教育の推進のため、文部科学省が開発したCBTシステム(MEXCBT)の導入による学びのデジタル化、学習e-ポータル「L-Gate」を活用した授業内外での新たな学び、Googleworkspace for Educationを活用した教員と児童・生徒の教育用の基本的ツール機能の利用を進め、対話的な学びや協働的な学びを活発化し、学力の向上へつなげます。		区 分	継続
			令和5年度	19,266 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	17,848,000 円	主な実績内容			
	決算額	17,551,847 円	(1)タブレット端末導入台数 258台   LTE方式 1 台あたり 3 GB/月使用可能 (2)Wi-Fiルーター導入台数 20台   各小・中学校に配置 (3)児童・生徒専用プリンターの設置（各学校 1 台）			
事業成果		児童生徒及び教員へ導入している 1 人 1 台端末に係る経費及び家庭学習に必要な経費等を支出しました。また、今後も拡大していく学習活動のデジタル化に向け、職員室及び普通教室に無線LAN環境を整備しました。	課題	1 人 1 台端末の更新を行いました。積極的に端末を使用した学習活動ができる環境を継続して整える必要があります。		
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		<b>【理由】</b> 今後もタブレット端末が全ての学習活動において重要な役割を担っていくため、活動を止めることのないよう環境を維持していくとともに、対話的な学びや協働的な学びの活性化を図り学力の向上につなげていく必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数	
	1.42 (2017年 1.06)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)	
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進				
	基本目標	2 心豊かな清川っ子を育む村づくり				
	基本施策	4 学校教育環境の整備				
計画事業 (予算事業)	416 中学校教育振興事業			担当部署	学校教育課	
事業概要	学習や教育に必要とする教材備品の購入を行います。また、学校の管理下における生徒の災害（負傷・疾病等）に対して災害共済給付を行うほか、経済的理由により就学困難な生徒に対する就学援助を行います。			事業費	区 分	継続
					令和5年度	1,343 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事業実績								
事業費	予算現額	1,450,000 円	主な実績内容					
	決算額	1,376,169 円	(1)生徒数 緑中学校56名 宮ヶ瀬中学校3名					
			(2)教材備品及び図書備品の整備					
			(3)就学援助費の支給 対象者 5 名					
			(4)学校管理下における生徒の災害（負傷、疾病等）に対する災害共済給付					
事業成果		経済的理由により、就学困難な生徒に対し就学援助費の支給を行いました。また学習活動に必要な教材備品及び図書備品を購入しました。		課題	就学援助制度の周知を徹底し、全ての生徒が適切な環境で学習活動を行う必要があります。			
評価					<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業					拡大		【理由】 経済的理由により、就学困難な生徒に対し、就学援助費の支給を継続する必要があります。また、学校における図書教育の充実のため、より効率的な図書備品の購入が必要です。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業					継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業					見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業					統合		
						廃止		

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標						
令和５年度 （2023年）までの 重要業績評価指標 （K P I）	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数	
	1.42 (2017年 1.06)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)	
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進				
	基本目標	2 心豊かな清川っ子を育む村づくり				
	基本施策	4 学校教育環境の整備				
計画事業 （予算事業）	417 小学校教育振興事業			担当部署	学校教育課	
事業概要	学習や教育に必要とする教材備品の購入を行います。また、学校の管理下における児童の災害（負傷、疾病等）に対して災害共済給付を行うほか、経済的理由により就学困難な児童に対する就学援助を行います。			事業費	区 分	継続
					令和５年度	1,700 千円
					令和６年度	予算編成時協議
					令和７年度	

事業実績						
事業費	予算現額	1,356,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,346,118 円	(1)児童数 緑小学校112名 宮ヶ瀬小学校2名 (2)教材備品及び図書備品の整備 (3)就学援助費の支給 対象者14名 (4)学校管理下における生徒の災害（負傷、疾病等）に対する災害共済給付			
事業成果	経済的理由により、就学困難な児童に対し就学援助費の支給を行いました。また学習活動に必要な教材備品及び図書備品を購入しました。		課題	就学援助制度の周知を徹底し、全ての児童が適切な環境で学習活動を行う必要があります。		
評価			<div></div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 経済的理由により、就学困難な児童に対し、就学援助費の支給を継続する必要があります。また、学校における図書教育の充実のため、より効率的な図書備品の購入が必要です。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
			廃止			

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり		
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備		
計画事業 (予算事業)	418 せせらぎ館管理運営事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	生涯学習活動の拠点施設として、利用促進と施設・設備等の適正な維持管理に努め、サービスの向上と施設の防犯・防災対策に努めます。		区 分	継続
			令和5年度	11,971 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	11,569,000 円	主な実績内容			
	決算額	11,524,048 円	利用状況：1938件（みどりホール、楽屋(リハーサル室)、活動室1、活動室2、活動室3、研修室、創作室、和室、展示室）			
事業成果		生涯学習活動の拠点施設として、施設管理人等を配置し、機能の充実と利用促進、適正な維持管理を図りました。また事業運営に必要な展示用パーテーションを備品として購入しました。	課題	施設設備の維持管理を行うため、老朽化に伴う備品等の計画的な更新と保全的な修繕が必要になります。		
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	理由	生涯学習活動の拠点施設として、利用促進に努めるとともに、機能の充実と施設・設備等の維持管理と住民サービスの向上を行っていきます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり		
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備		
計画事業 (予算事業)	419 図書館管理運営事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	図書整理員を配置し、図書及び視聴覚資料の充実を図るとともに、 村ホームページで新着図書等の紹介を行い、図書館の適正な管理運営 とサービス向上を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	8,621 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績								
事業費	予算現額	8,806,000 円	主な実績内容					
	決算額	8,625,242 円	(1)蔵書数45,812冊 ビデオ・DVD数 972冊					
			(2)利用者数 大人6,963名 子ども2,205名 (2)貸出図書数 一般書7,303冊 児童書4,975冊 (3)貸出ビデオ・DVD 914本					
事業成果		図書の貸出実績は減少しているものの、村内・村外の利用登録者数は増加しました。また、図書館の適正な管理運営を行い、利用者のニーズにあった業務運営に努めました。		課題	図書館の利用者数は増えているものの、貸出実績が減少している。利用者のニーズにあった蔵書を充実させていく必要があります。学校図書室との連携についても研究していく必要があります。			
評価					<div>→</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業					拡大	【理由】 今後も図書館の適切な管理・運営を行い、村民の読書活動の場所として役割を担っていくことから、今後も図書館のサービス向上と運営に努めていく必要性がある。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業					継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業					見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業					統合		
						廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり		
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備		
計画事業 (予算事業)	420 運動公園管理運営事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	清川村運動公園を安全に安心して利用できるよう、施設・設備等の維持管理に努めるとともに、利用者へのサービス向上を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	5,728 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	5,400,000 円	主な実績内容			
	決算額	5,112,358 円	(1) 野球場	利用者総数4,427名	(2) テニスコート	利用者総数7,165名
事業成果		清川村運動公園を安全・安心に使用できるよう適切な維持管理に努めました。		課題	施設設備の維持管理を行うため、老朽化に伴う設備等の計画的な更新と保全的な修繕が必要となります。	
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 今後も村民の健康増進や交流の場として利用者の安心・安全のために、維持管理とサービスの向上を行っていく。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり		
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備		
計画事業 (予算事業)	421 清川やまびこマラソン大会		担当部署	生涯学習課
事業概要	村民の体育・スポーツ意識の高揚や健康増進、体力の向上を図るため、マラソン大会を開催します。ゲストランナーを招待し、地域の元 気や賑わいを創出します。		区 分	拡充
			令和5年度	2,000 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	2,460,000 円	主な実績内容			
	決算額	2,460,000 円	(1)ハーフの部 203名 (2)5kmの部 121名 (3)3km 21名 (4)1. 5kmの部 22人 (5)1. 5km親子52人 (6)リタイア5名 計424名 うち村民の参加者(1)2名(2)3名(3)4名(4)15名(5)24名 計48名			
事業成果		4年ぶりに開催された事業の中で、村民の参加者が全体の10%と少ないです。その中で、小学生・親子を対象にした1.5kmの部の村民の参加者が多い結果となりました。	課題	全体の参加者が半減し、村民の参加者も少ないことから、参加者を増やすための対策が課題です。		
評価			B 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 事業目的に対して村民の参加率がとても低い状況です。今後事業を行っていくうえで事業目的を確認し、今後事業の改善や見直しを含め検討する必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり		
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備		
計画事業 (予算事業)	422 夏季プール一般開放事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	村民の健康増進や体力の向上を図るため、学校の夏季休業中に緑小学校プールの一般開放を行います。		区 分	継続
			令和5年度	1,506 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	1,495,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,494,900 円	19日開放 502名参加			
事業成果		令和4年度の参加者が386人だったことに対して、令和5年度は参加者が増えています。小・中学生の夏休みの際の運動の機会の提供の場、村民の健康増進や体力の向上を図るための事業を実施できました。		課題	プール施設の老朽化に伴い、夏季プール一般開放が継続できない可能性があります。	
評価				<div></div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	<div>【理由】 学校において、プールの授業を行っていく間は、本事業を継続していきます。</div>
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり		
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備		
計画事業 (予算事業)	423 文化振興事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	生涯学習センター「せせらぎ館」を拠点とする各種団体の活動を支援するとともに、文化作品展・芸能発表会や音楽鑑賞会などのイベントや展示会を開催することで、活動環境の充実と趣味を通じた仲間づくりを促進します。		区 分	継続
			令和5年度	579 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	579,000 円	主な実績内容			
	決算額	574,274 円	(1)文化作品展 出展者：82名 観覧者：94名 (2)芸能発表会 参加者108名 観覧者124名			
事業成果		5年度も例年同様の賑わいを見せました。また、文化作品展・芸能発表会を通して地域住民の活動の発表の場・新たな交流の場としての成果をあげました。		課題	本事業を主体的に進める団体の育成と確保が課題です。	
評価				<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	<div>【理由】</div> <div>普段活動している団体の発表の場・交流の場としてこの事業は今後も必要ではありますが、行政主体の運営からの変革が必要です。</div>
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数	
	1.42 (2017年 1.06)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)	
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進				
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり				
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備				
計画事業 (予算事業)	424 生涯スポーツ推進事業			担当部署	生涯学習課	
事業概要	スポーツレクリエーションを通じ、村民の健康増進を図るためグラウンド・ゴルフ体験教室やカヌー体験教室を開催し、村の自然の豊かさを体感するとともに、環境を活用した地域スポーツの普及・振興を図ります。			事業費	区 分	継続
					令和5年度	105 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事業実績							
事業費	予算現額	105,000 円	主な実績内容				
	決算額	105,000 円	(1)カヌー体験教室 16名 (2)グラウンド・ゴルフ体験教室 6/24 18名、7/22 18名、8/26 13名				
事業成果		カヌー体験教室においては、参加人数のうち約半数の7名が昨年度も参加いただいていることから、リピート率が高いことが分かります。グラウンド・ゴルフにおいては、参加者からの評判も良く、村民の健康維持とふれあいの場の創出として有効な事業でありました。		課題	新規の参加者の獲得が必要です。カヌー体験教室については4年度は6月に行っているが5年度は9月に実施しました。参加者のニーズにあった開催時期の模索が必要です。		
評価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 カヌー体験教室については、リピーターの方も多く、村内在住の方からのニーズも高いことが分かります。グラウンド・ゴルフは教室ではなく、競技が初心者から経験者まで分け隔てなく楽しめるため、今後大会という形で継続していきます。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B 80%以上	
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42 (2017年 1.06)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進			
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり			
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備			
計画事業 (予算事業)	425 生涯学習推進事業			担当部署	生涯学習課
事業概要	陶芸教室や歴史講座を開催することで、学ぶ機会を提供し、講座を通じて各種団体との相互交流を図り、団体活動の活性化に努めます。			区 分	継続
				令和5年度	118 千円
				令和6年度	予算編成時協議
				令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	46,000 円	主な実績内容			
	決算額	46,000 円	1. 陶芸教室：(1)8/25 4名（絵皿の制作） (2)9/22 7名（湯呑及びマグカップの制作） (3)11/10 16名（茶碗及び小鉢） 2. 歴史講座：(1)こみちめぐり～村指定文化財の見学～ 参加者15名 (2)お里物語「海を渡った宮ヶ瀬の女性・川瀬サトの生涯」 参加者26名			
事業成果		昨年度に比べて、参加者が半数以下に減ってしまいましたが、実参加者数8名のうち4名が新規の参加者であり、歴史講座には延べ41名の参加者があったことから、教室や講座という学ぶ機会を提供することができました。	課題	参加者増加のための周知・参加者のニーズにあった制作・教室の開催が必要です。		
評価			B 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 参加者が前年度に比べて半数以下に減ってしまったことから、教室内容の見直しを検討します。また、歴史講座については、ニーズが高いことから、より魅力的なテーマ内容の講座が開催できるよう関係団体との調節を行っていきます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
			廃止			

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標						
令和 5 年度 (2023 年) までの 重要業績評価指標 (K P I)	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数	
	1.42 (2017 年 1.06)		0 人 (2017 年 0 人)	5 件	幼 8 ・ 小 14 ・ 中 8 回 / 年 (2017 年 幼 6 ・ 小 12 ・ 中 6)	
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進				
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり				
	基本施策	2 村の歴史・文化資源の保護と伝承				
計画事業 (予算事業)	426 文化伝承・文化財保護推進事業			担当部署	生涯学習課	
事業概要	地域の自然や文化、歴史を受け継ぎ伝えるとともに、貴重な文化財を保護・保存し、継承していきます。また、『清川村史』作成の際に集めた未整理資料の中から文化財として価値の高いものを展示する計画です。			事業費	区 分	継続
					令和 5 年度	990 千円
					令和 6 年度	予算編成時協議
					令和 7 年度	

事業実績						
事業費	予算現額	950,000 円	主な実績内容			
	決算額	810,000 円	(1)文化財保護委員会議 会議2回			
			(2)企画展「煤ヶ谷地区に残された、ニホンオオカミの頭骨と前肢、武蔵御嶽信仰」 (令和6年2月24日) 参加者37名 (3)村指定文化財管理補助金:大日如来座像十一面観世音菩薩立像乗鞍達磨画像			
事業成果		地域の文化・歴史が次世代まで継承されとともに村の伝承者養成や地域伝承活動の推進を図りました。		課題	貴重な資料の保存や検証を行い、併せて資料を確保していくことが必要となります。	
評価				<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 地域の文化・歴史を次世代に伝承していくとともに、伝承者の養成や伝承活動の推進を行っていきます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進				
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり				
	基本施策	2 村の歴史・文化資源の保護と伝承				
計画事業 (予算事業)	427 青龍祭			担当部署	生涯学習課	
事業概要	村の伝統文化の継承をはじめ、青少年の健全育成、住民の交流、観光振興等のため、8月中旬に青龍祭を開催します。また、関係団体の代表者で実行委員会を組織し、年間を通じて青龍祭開催に向けた準備を行います。当日は入魂式と青龍パレードを行った後、夕方から本祭を開催します。			事業費	区 分	継続
					令和5年度	1,000 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	1,000,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,000,000 円	(1)準備：藁すぐり54名、龍制作7/23・14名、こもあみ7/29 44名、 龍制作7/30 13名 龍制作8/5 22名 龍制作・鱗付け・ぬり絵ちょうちん作り 91名 (2)当日：準備80名、入魂式140名、パレード207名、受付時668名、本祭934名、アトラクション1,504名 青龍渡御1,350名			
事業成果		令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、令和5年度は4年ぶりに青龍祭を開催することができ、地元住民の関心や意識向上、伝統文化の継承、地域の活性化及び観光振興を図ることを目的とした事業を実施することができました。	課題	熱中症対策・龍制作等の際の協力者の確保が課題です。		
評価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 村の伝統行事の継承と住民の交流・観光復興等のため今後も事業を継続していく必要性があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大	○	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続		
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 目標管理シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1施設

目 標 達 成 度				
年度/区分	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
令和元年度 (2019年)	1,220人/年	31.0%	11.0%	0施設
令和2年度 (2020年)	38人/年	26.4%	11.0%	1施設
令和3年度 (2021年)	30人/年	33.0%	11.0%	0施設
令和4年度 (2022年)	54人/年	33.0%	12.0%	0施設
令和5年度 (2023年)	684人/年	36.0%	12.0%	0施設
計	684人 (年平均405人)	36.0%	12.0%	1施設

事 業 実 績			
計画事業（予算事業）	評価	今後の方向性・方針	
501 予防接種事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
502 健康増進計画・食育推進計画策定事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
503 健康寿命延伸事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
504 やまびこ健診事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
505 やまびこ館管理運営事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
506 健康増進事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
507 宮ヶ瀬診療所運営事業	C	継続	課題等が多く、見直しにより継続して実施します
508 医療対策事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
509 地域医療支援事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
510 介護保険事業特別会計	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
511 老人福祉総務事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
512 敬老事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
513 高齢者外出支援事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
514 在宅療養者支援事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します

事業実績			
計画事業（予算事業）		評価	今後の方向性・方針
515	高齢者見守り事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
516	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
517	高齢者運転免許証自主返納者支援事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
518	社会福祉総務事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
519	せせらぎ館管理運営事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
520	図書館管理運営事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
521	運動公園管理運営事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
522	清川やまびこマラソン大会（再掲）	B	継続 課題があるが、継続して実施します
523	夏季プール一般開放事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
524	文化振興事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
525	集会施設等維持管理事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
526	コミュニティ活動支援事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
527	地域コミュニティ活性化事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します

達成状況に対する評価	
未病センターきよかわ 利用者数	クリエイトの未病センターを開設した為、利用者が増加した。お出かけ支援バスの待合に利用するなど活用できている。
やまびこ健診受診率	後期高齢者に受診率が増えたため受診率が増加した。特に、集団健診の受診者が増加した。
介護予防教室参加率	新規加入者も増えており、目標値に達成している。
高齢者向け 福祉施設等の新規整備	令和２年度に認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を新規整備したため、目標達成への課題はない。

目標指針の今後の方向性・方針	
未病センターきよかわ 利用者数	各種事業で、未病センターの周知を行い利用者の向上を図る。
やまびこ健診受診率	申し込み方法や健診内容を検討し受診しやすい方法を検討する。また未受診者に電話などの受診勧奨を実施する。
介護予防教室参加率	新規加入者も増えており、参加率を下げないよう啓発を行う。
高齢者向け 福祉施設等の新規整備	令和２年度に認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を新規整備し目標達成したため、今後の新規整備の予定はない。
【備 考】	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	501 予防接種事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	予防接種法に基づく各種の予防接種を実施するほか、インフルエンザ、風しん、帯状疱疹に係る予防接種費用を助成することで接種を勧奨し、費用負担の軽減と重症化・まん延化の防止を図ります。		区 分	拡充
			令和5年度	9,349 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	9,349,000 円	主な実績内容			
	決算額	7,145,031 円	・高齢者インフルエンザ予防接種 686人 ・高齢者肺炎球菌予防接種 22人 ・風しん抗体検査 8人 風しん予防接種2人 ・带状疱疹予防接種 26人			
事業成果		带状疱疹予防接種費用助成を開始し、予算を上回る状況となりました。	課題	近隣（厚木市、愛川町）において、带状疱疹予防接種費用助成を償還ではなく委託として令和6年度から開始しているので、今後手法の見直しが必要であると考えます。		
評価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 50歳以上が対象となる上記予防接種は、全国的に取り組みがあり、村民ニーズも高いことであるから、継続する必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

A →

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数		やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)		40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進			
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり			
	基本施策	2 総合的な健康づくりの実施・充実			
計画事業 (予算事業)	502 健康増進計画・食育推進計画策定事業			担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	第3期清川村健康増進計画・食育推進計画の策定にあたり、村民の一人ひとりが健康で生きがいをもった暮らしを営むことができるよう健康づくりや食育に関する課題を明確化するため、アンケート調査を実施します。			区 分	新規
				令和5年度	1,253 千円
				令和6年度	予算編成時協議
				令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	1,253,000 円	主な実績内容			
	決算額	623,964 円	○推進アドバイザー報償（3回） 105,000円 ○推進協議会委員報償（2回） 65,000円 ○策定アンケート調査（印刷代、郵送料、データ結果入力業務委託料） 453,964円			
事業成果	インターネットと紙による回答方法で、計画立案につながる調査結果が得られました。		課題	デジタル化の発展により、10年後次期計画時には、アンケートの紙配布は不要となると考えられます。		
評価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 今年度中に健康増進計画・食育推進計画を策定予定です。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	2 総合的な健康づくりの実施・充実		
計画事業 (予算事業)	503 健康寿命延伸事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	後期高齢者の自立した生活と健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病重症化予防やオーラルフレイル健診・通い場における健康教育・相談事業などを一体的に実施し、きめ細かな支援を行います。		区 分	新規
			令和5年度	658 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	658,000 円	主な実績内容			
	決算額	636,770 円	○ハイリスクアプローチ事業 ○ポピュレーションアプローチ（サロンなど通いの場での健康教育）			
事業成果	75歳以上の保健事業を介護予防と保健予防で一体的に実施できた。生活習慣病に重症化予防のため継続的に支援することで改善が見られました。		課題	介護保険申請の理由として、脳卒中・転倒骨折・認知症があります。その予防のために各種事業を実施していく必要があります。		
評価			<div>B</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		<b>【理由】</b> 健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病等の重症化予防やフレイル予防の保健事業の実施を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B 80%以上	
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	504 やまびこ健診事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	20～39歳の早期健診、75歳以上の後期高齢者健診、肝炎ウィルス 検査・骨密度検査等を実施し、病気の早期発見・早期治療及び生活習 慣病の予防を図るほか、村民の健康保持・増進を促進します。		区 分	継続
			令和5年度	6,346 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績							
事業費	予算現額	5,704,000 円	主な実績内容				
	決算額	5,450,948 円	○早期生活習慣病予防等健康診査業務委託料 459,056円 ○後期高齢者等健康診査業務委託料 3,653,867円 ○骨密度測定検査業務委託料 473,110円 ○肝炎ウィルス健診業務委託料 45,045円				
事業成果		健診を実施することにより、疾病の早期発見・早期治療につなげるとともに、生活習慣の予防・改善を図りました。		課題	早期生活習慣病予防健康診査の受診率が低いことから、生活習慣病の予防につなげる取り組みの実施が必要です。		
評価				A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 健康診査を継続して実施し、生活習慣病の予防を図り、医療費及び介護保険給付費の抑制に努めていきます。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	2 総合的な健康づくりの実施・充実		
計画事業 (予算事業)	505 やまびこ館管理運営事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	村民の健康増進及び社会福祉の場であり、保健福祉の拠点施設であるやまびこ館を適正に管理運営し、利用者の利便性向上に努めます。		区 分	継続
			令和5年度	4,086 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	3,978,000 円	主な実績内容			
	決算額	3,896,662 円	○清掃業務委託 654,236円			
			○エレベーター等保守業務委託 475,200円			
			○機械警備業務委託 402,600円			
			○室内機洗浄整備作業業務委託 1,430,000円			
事業成果		適正な管理運営を図ることで、施設の安全かつ良好な状態を保っています。		課題	建物の経年劣化による備品や設備の修繕等が見られるほか、今後も増加していくことが考えられ、適切な管理が求められます。	
評価				<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 引き続き、保健福祉の拠点として、機器の修繕等の費用が膨らまないよう点検や確認に努めます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	○
		B	7	B どちらかと言うと高い	
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B 80%以上	
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	2 総合的な健康づくりの実施・充実		
計画事業 (予算事業)	506 健康増進事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	健康保持増進及び生活習慣病の予防、早期発見・早期治療を図るため、未病センターの運営や健診後の各種相談事業を実施します。		区 分	継続
			令和5年度	327 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	327,000 円	主な実績内容			
	決算額	281,934 円	○健康手帳の交付 ○健康栄養・運動相談 ○健康カレンダー作成して健康情報に周知			
事業成果		健診結果などに基づき、健康相談を実施して生活習慣の改善を促し、生活習慣病の予防及び悪化を防ぐことができました。		課題	健康無関心層への健康情報の発信ができないことが課題です。	
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 生活習慣病に予防など健康無関心期層への働きかけが重要であることから事業を継続していきます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		
		B	9	B どちらかと言うと高い		○
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		
		B	7	B どちらかと言うと高い		○
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数		やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)		40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進			
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり			
	基本施策	3 地域医療サービスの充実			
計画事業 (予算事業)	507 宮ヶ瀬診療所運営事業			担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	一般診療を受けることができる村内の医療施設として、宮ヶ瀬地区 住民センターに宮ヶ瀬診療所を設置し、地域医療の充実を図ります。			区 分	継続
				令和5年度	2,981 千円
				令和6年度	予算編成時協議
				令和7年度	

事業実績							
事業費	予算現額	2,741,000 円	主な実績内容				
	決算額	2,599,643 円	・診療回数47回、患者数延41人（0.9人／日平均）				
事業成果		宮ヶ瀬住民センターを宮ヶ瀬診療所として、毎週水曜日（14:00～15:30）に診療を行い、村内で一般診療を受けることができる医療機関として、村民の身近な施設での地域医療充実を図りました。		課題	受診患者の高齢化に伴い、入院や施設入所が必要となるなど、受診患者数が減少する一方で、自宅からより近い医療機関として受診先を変更した方もいるため、今後も地域住民の利便性をはじめ、新規患者も受け入れられる体制整備を継続していく必要があります。		
評価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 村内で一般診療を受けることができる医療機関として重要であるが、利用者数が年々減少しているため今後の運営について検討の必要があります。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	C	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	○
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C 改善の余地あり	○
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	3 地域医療サービスの充実		
計画事業 (予算事業)	508 医療対策事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	村民の安全・安心を確保し、生活の質を高めるため、休日・夜間における救急医療体制の確保や24時間相談できる健康・医療相談サービスを実施します。		区 分	継続
			令和5年度	3,058 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績							
事業費	予算現額	3,058,000 円	主な実績内容				
	決算額	3,031,352 円	○厚木医療圏広域医療診療事業負担金 2,084,059円				
			○第1 歯科診療圏障害者歯科診療事業負担金 99,020円				
			○電話による健康医療相談相談サービス事業 771,672円 相談件数 100件				
				○やまびこ館AED使用料 73,920円			
事業成果		村民が安心して生活できるよう、休日及び夜間における救急医療体制の確保及び歯科保健センター維持管理費(障害者歯科診療事業分)を負担しました。感染症対策に伴う厚木医師会管内における、年末年始における診療体制の確保のための経費を負担しました。		課題	現行の電話による健康医療相談サービス事業の利用促進を推進する必要があります。		
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 医療資源の少ない本村においては、引き続き広域的な医療体制の確保を図る必要があることから、継続して実施します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	3 地域医療サービスの充実		
計画事業 (予算事業)	509 地域医療支援事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	歯科医療体制の確保のため、歯科医療運営費を補助することで、歯科診療の充実を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	2,450 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績							
事業費	予算現額	2,450,000 円	主な実績内容				
	決算額	2,400,000 円	歯科医院に対し、助成金を交付しました。 ○清川村地域医療支援助成金 2,400,000円				
事業成果		助成金交付によって、村内唯一の歯科医院の確保・運営が図られました。		課題	歯科医院の確保を図りながら、助成金額等の調整やあり方の検討が必要です。		
評価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 地域医療拠点である歯科医院の確保を第一に、当該医院の利用者数等村民のニーズを把握し、助成額の適正化を図ります。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	4 各種保険サービスの充実		
計画事業 (予算事業)	510 介護保険事業特別会計		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	介護保険法に基づき、65歳以上の方（第1号被保険者）及び40歳から64歳までの方（第2号被保険者）からの保険料を財源として、要介護・要支援の認定を受けた方に各種介護・予防サービスを提供します。		区 分	継続
			令和5年度	323,618 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	359,102,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	348,909,212 円	介護保険法に基づき、安定した事業の運営を図りました。			
事業成果	円滑に事業の運営を図ることができました。		課 題	村は県内でも高齢化率は高く、認定率は低い状況にあり、元気な高齢者が多くいる一方で、重度化してから介護認定を受ける人が多いため、介護給付費が高くなっています。重度化する前の健康づくり事業や、介護予防事業等の強化が必要となります。		
評 価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<div>【理由】 介護保険は、加齢による病気等で要介護状態となり、入浴・排泄・食事等の介護・機能訓練等が必要な人に対して必要不可欠であり、高齢者が安心して日常生活を送ることができるよう、継続して事業を行います。</div>	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
				廃 止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	2 だれもが安心して生活できる村づくり		
	基本施策	1 高齢化社会に備えた体制の整備		
計画事業 (予算事業)	511 老人福祉総務事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	高齢者福祉に関わる団体に対する支援を通じて、地域が活性化することで高齢者が住み慣れた地域の中でいきいきと暮らし続けることができる環境づくりを推進します。		区 分	継続
			令和5年度	3,636 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事 業 実 績						
事業費	予算現額	3,636,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	3,633,870 円	○生きがい事業団運営費補助金 3,000,000円 ○緑ことぶき会運営費補助金 630,000円			
事業成果	補助金の交付等の支援により、各種団体の活性化が図られ、高齢者の活力ある社会づくりが推進されました。		課 題	各団体とも加入者の高齢化および会員の減少が進んでいることから、団体の活力ある活動を継続するために新規会員の加入が必要です。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることのできる地域づくりに関し、支援を継続する必要があります。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
				廃 止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	2 だれもが安心して生活できる村づくり		
	基本施策	1 高齢化社会に備えた体制の整備		
計画事業 (予算事業)	512 敬老事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	多年にわたり地域社会の発展に寄与された高齢者に敬愛の意を表し、長寿を祝うため、敬老会の開催、敬老祝金品を贈呈します。また、地域住民の高齢者福祉への関心と理解を深めるとともに、高齢者自らが生活の質の向上に努める意欲を高めることで、地域全体の福祉増進を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	1,877 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績							
事業費	予算現額	1,658,937 円	主な実績内容				
	決算額	1,658,937 円	○敬老祝金	580,000円	53組		
			○敬老祝品	516,937円	532人		
			○演芸業務委託料	495,000円			
			○来場者送迎用バス賃借料	67,000円			
事業成果		多年にわたり地域社会に貢献された高齢者の長寿を祝うため、9月に敬老会を開催しました。また、敬老祝金品を贈呈しました。		課題	対象者が年々増加しているため、会場の収容人数や予算確保等の観点から、敬老会の開催方法や祝金品の対象者の見直し等の検討が必要です。		
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 多年にわたり地域に貢献されてきた高齢者の長寿を祝うだけでなく、地域住民に対して高齢者の福祉に関心を持っていただき、また、理解を深めていただく必要があるため、事業を継続していきます。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	2 だれもが安心して生活できる村づくり		
	基本施策	1 高齢化社会に備えた体制の整備		
計画事業 (予算事業)	513 高齢者外出支援事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	バス事業者が販売している高齢者バス割引乗車券を購入する高齢者に対し、当該購入費の一部を助成することで、高齢者の外出機会を拡大し、社会参加や健康づくり、生きがいがづくりの増進を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	1,631 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	1,358,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,358,000 円	○高齢者バス割引乗車券購入費助成負担金 1,358,000円 194人			
事業成果	高齢者の経済的な負担の軽減だけでなく、外出機会の拡大と社会参加の促進、健康づくり、生きがいがづくりの増進が図られました。		課題	神奈川中央交通(株)よりかなちゃん手形の制度見直しを検討されていることから、助成金額等の事業見直しが必要です。		
評価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 高齢者の外出機会を増やし、積極的に社会参加できるように支援していく必要があるため、事業を継続していきます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	2 だれもが安心して生活できる村づくり		
	基本施策	1 高齢化社会に備えた体制の整備		
計画事業 (予算事業)	514 在宅療養者支援事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	在宅の要介護者・要支援者及び介護予防・日常生活総合事業対象者 (本人非課税に限る)に対し、日常生活用具を給付することで、日常生活の機能維持・自立促進及び介護者の経済的負担の軽減を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	840 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	966,321 円	主な実績内容			
	決算額	966,321 円	○日常生活用具給付金 966,321円 利用登録者数 65人 (要支援認定者及び総合事業対象者：上限2,000円/月、要介護認定者：上限4,000円/月)			
事業成果		在宅で介護サービスを利用している要介護認定者等 (本人非課税)に紙おむつ等の介護用品を給付し、日常生活における機能維持と自立の促進、介護者の経済的負担の軽減を図ることができました。		課題	年々、利用登録者が増加しているため、予算確保や登録対象者の見直し等が必要となります。	
評価				<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 要介護認定者等の日常における機能維持や介護者の経済的負担軽減を図るため継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	○
		B	7	B どちらかと言うと有効	
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B 80%以上	
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	2 だれもが安心して生活できる村づくり		
	基本施策	1 高齢化社会に備えた体制の整備		
計画事業 (予算事業)	515 高齢者見守り事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	日常生活に支障のある高齢者やその家族に対して、各種の高齢者見守り事業を実施することで、身元確認や安否確認を行う環境をつくり、高齢者福祉の増進を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	1,024 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績					
事業費	予算現額	888,800 円	主な実績内容		
	決算額	888,800 円	○福祉給食サービス事業委託料 888,800円 @400×2,222人		
事業成果	日常生活に支障のある高齢者等について、安心して生活のできる環境づくりが図られました。		課題	令和6年度より配食日が減少することから、多事業での見守り活動等ができる環境づくりを充実する必要があります。	
評価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	<div>【理由】 一人暮らし暮らしの高齢者や高齢世帯等を対象に食生活の改善や孤独感の解消、緊急時の対応促進を目的として、見守り活動できる環境づくりを整える必要があるため、事業を継続していきます。</div>
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	
				廃止	

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数		やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)		40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進			
	基本目標	2 だれもが安心して生活できる村づくり			
	基本施策	1 高齢化社会に備えた体制の整備			
計画事業 (予算事業)	516 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業			担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	地域での活躍を希望する高齢者に対して、補聴器の購入費助成を行い、日常生活の利便に供することで、心身の機能維持と自立の促進を図ります。また、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを推進するため、レクリエーション活動や幼稚園児・保育園児との交流の場を提供します。			区 分	継続
				令和5年度	568 千円
				令和6年度	予算編成時協議
				令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	394,699 円	主な実績内容			
	決算額	394,699 円	○ゲートボール場維持管理経費 324,699円 ○在宅高齢者自立支援用具購入費助成金 70,000円 7人			
事業成果		高齢者の生きがいと健康づくりの増進が図られました。		課題	現地を使用していたゲートボールクラブが解散し、現在は個人でのゲートボール場としての利用や各保育園の運動会とその他行事、災害（防災訓練）時の避難場所として利用されていますが、費用対効果を上げるためにもさらに有効活用できるよう検討が必要です。	
評価				<div>B</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	ゲートボールクラブの解散により使用頻度は下がったものの、整地した代替地が用意できず、現地を必要とする利用者が他にもいるが本事業としては利用頻度が低いことから見直しの検討が必要です。
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	○
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続		
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し	○	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		
		B	9	B どちらかと言うと高い		○
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		
		B	7	B どちらかと言うと高い		○
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	2 だれもが安心して生活できる村づくり		
	基本施策	1 高齢化社会に備えた体制の整備		
計画事業 (予算事業)	517 高齢者運転免許証自主返納者支援事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	運転免許証を自主返納した高齢者に対し、高齢者バス割引乗車券購入費助成事業における自己負担額を2年間にわたり全額助成することで、自動車の運転に不安を持つ高齢者が自主的に運転免許証を返納しやすい環境を整備し、高齢者による交通事故の防止を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	108 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績					
事業費	予算現額	64,800 円	主な実績内容		
	決算額	64,800 円	○高齢者運転免許証自主返納者支援事業補助金 64,800円 6人		
事業成果	高齢者の運転による交通事故の防止とともに、外出機会の拡大と社会参加の促進、健康づくり、生きがいづくりの増進が図られました。		課題	神奈川中央交通㈱よりかなちゃん手形の制度見直しを検討されていることから、助成金額等の事業見直しが必要です。	
評価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	<div>【理由】 高齢者の自動車の運転による交通事故の防止につなげるため運転免許証を返納しやすい環境を今後も整える必要があるため、事業を継続していきます。</div>
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	
				廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	2 だれもが安心して生活できる村づくり		
	基本施策	3 地域ぐるみの福祉活動の充実		
計画事業 (予算事業)	518 社会福祉総務事業		担当部署	子育て健康福祉課
事業概要	共に支え合う地域社会を形成するため、社会福祉に関する団体への負担金及び補助金等を交付することで、地域福祉の増進を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	61,690 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事 業 実 績					
事業費	予算現額	63,414,120 円	主な実績内容		
	決 算 額	61,400,120 円	地域に密着した福祉の増進を図るため、社会福祉協議会の運営費補助をはじめ、各種社会福祉関係団体への支援に係る経費等を支出しました。		
事業成果	社会福祉に関する団体への負担金及び補助金等を交付し、社会福祉の増進を図ることができました。		課 題	社会福祉協議会は自主財源が限られている中、村からの補助金、交付金により運営されています。高齢化社会などにより、社会福祉協議会の役割も増え、今後マンパワーの不足が懸念されます。	
評 価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<div>【理由】</div> <div>社会福祉の維持・向上のため事業を継続していきます。</div>
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合	
				廃 止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数		やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)		40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進			
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり			
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備			
計画事業 (予算事業)	519 セせらぎ館管理運営事業(再掲)			担当部署	生涯学習課
事業概要	生涯学習活動の拠点施設として、利用促進と施設・設備等の適正な維持管理に努め、サービスの向上と施設の防犯・防災対策に努めます。			区 分	継続
				令和5年度	11,971 千円
				令和6年度	予算編成時協議
				令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	11,569,000 円	主な実績内容			
	決算額	11,524,048 円	利用状況：1938件（みどりホール、楽屋(リハーサル室)、活動室1、活動室2、活動室3、研修室、創作室、和室、展示室)			
事業成果		生涯学習活動の拠点施設として、施設管理人等を配置し、機能の充実と利用促進、適正な維持管理を図りました。また事業運営に必要な展示用パーテーションを備品として購入しました。		課題	施設設備の維持管理を行うため、老朽化に伴う備品等の計画的な更新と保全的な修繕が必要になります。	
評価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 生涯学習活動の拠点施設として、利用促進に努めるとともに、機能の充実と施設・設備等の維持管理と住民サービスの向上を行っていきます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数		やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)		40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1施設
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進			
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり			
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備			
計画事業 (予算事業)	520 図書館管理運営事業(再掲)			担当部署	生涯学習課
事業概要	図書整理員を配置し、図書及び視聴覚資料の充実を図るとともに、 村ホームページで新着図書等の紹介を行い、図書館の適正な管理運営 とサービス向上を図ります。			区 分	継続
				令和5年度	8,621 千円
				令和6年度	予算編成時協議
				令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	8,806,000 円	主な実績内容			
	決算額	8,625,242 円	(1)蔵書数45,812冊 ビデオ・DVD数 972冊			
			(2)利用者数 大人6,963名 子ども2,205名 (2)貸出図書数 一般書7,303冊 児童書4,975冊 (3)貸出ビデオ・DVD 914本			
事業成果		図書の貸出実績は減少しているものの、村内・村外の利用登録者数は増加しました。また、図書館の適正な管理運営を行い、利用者のニーズにあった業務運営に努めました。		課題	図書館の利用者数は増えているものの、貸出実績が減少している。利用者のニーズにあった蔵書を充実させていく必要があります。学校図書室との連携についても研究していく必要があります。	
評価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			A	拡大	【理由】 今後も図書館の適切な管理・運営を行い、村民の読書活動の場所として役割を担っていくことから、今後も図書館のサービス向上と運営に努めていく必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり		
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備		
計画事業 (予算事業)	521 運動公園管理運営事業（再掲）		担当部署	生涯学習課
事業概要	清川村運動公園を安全に安心して利用できるよう、施設・設備等の維持管理に努めるとともに、利用者へのサービス向上を図ります。		区 分	継続
			令和5年度	5,728 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	5,400,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	5,112,358 円	(1) 野球場	利用者総数4,427名		
			(2) テニス場	利用者総数7,165名		
事業成果		清川村運動公園を安全・安心に使用できるよう適切な維持管理に努めました。		課 題	施設設備の維持管理を行うため、老朽化に伴う設備等の計画的な更新と保全的な修繕が必要となります。	
評 価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	<b>【理由】</b> 今後も村民の健康増進や交流の場として利用者の安心・安全のために、維持管理とサービスの向上を行っていきます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合	
					廃 止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり		
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備		
計画事業 (予算事業)	522 清川やまびこマラソン大会(再掲)		担当部署	生涯学習課
事業概要	村民の体育・スポーツ意識の高揚や健康増進、体力の向上を図るため、マラソン大会を開催します。ゲストランナーを招致することで大会参加意欲を高め、地域の元気や賑わいを創出します。		区 分	継続
			令和5年度	2,000 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	2,460,000 円	主な実績内容			
	決算額	2,460,000 円	(1)ハーフの部 203名 (2)5kmの部 121名 (3)3km 21名 (4)1. 5kmの部 22人 (5)1. 5km親子52人 (6)リタイア5名 計424名 うち村民の参加者(1)2名(2)3名(3)4名(4)15名(5)24名 計48名			
事業成果		4年ぶり開催された事業の中で、村民の参加者が全体の10%と少ないです。その中で、小学生・親子を対象にした1.5kmの部の村民の参加者が多い結果となりました。		課題	全体の参加者が半減し、村民の参加者も少ないことから、参加者を増やすための対策が課題です。	
評価				<div>B</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	<div>【理由】</div> <div>事業目的に対して村民の参加率がとても低い状況です。今後事業を行っていくうえで事業目的を確認し、今後事業の改善や見直しを含め検討する必要があります。</div>
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数		やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)		40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進			
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり			
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備			
計画事業 (予算事業)	523 夏季プール一般開放事業(再掲)			担当部署	生涯学習課
事業概要	村民の健康増進や体力の向上を図るため、学校の夏季休業中に緑小学校プールの一般開放を行います。			区 分	継続
				令和5年度	1,506 千円
				令和6年度	予算編成時協議
				令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	1,495,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,494,900 円	19日開放 502名参加			
事業成果		令和4年度の参加者が386人だったことに対して、令和5年度は参加者が増えています。小・中学生の夏休みの際の運動の機会の提供の場、村民の健康増進や体力の向上を図るための事業を実施できました。		課題	プール施設の老朽化に伴い、夏季プール一般開放が継続できない可能性があります。	
評価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	学校において、プールの授業を行っていく間は、本事業を継続していきます。
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	3 生涯にわたり学び合える村づくり		
	基本施策	1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備		
計画事業 (予算事業)	524 文化振興事業(再掲)		担当部署	生涯学習課
事業概要	生涯学習センター「せせらぎ館」を拠点とする各種団体の活動を支援するとともに、文化作品展・芸能発表会や音楽鑑賞会などのイベントや展示会を開催することで、活動環境の充実と趣味を通じた仲間づくりを促進します。		区 分	継続
			令和5年度	579 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	579,000 円	主な実績内容			
	決算額	574,274 円	(1)文化作品展 出展者：82名 観覧者：94名 (2)芸能発表会 参加者108名 観覧者124名			
事業成果		5年度も例年同様の賑わいを見せました。また、文化作品展・芸能発表会を通して地域住民の活動の発表の場・新たな交流の場としての成果をあげました。		課題	本事業を主体的に進める団体の育成と確保が課題です。	
評価				<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 普段活動している団体の発表の場・交流の場としてこの事業は今後も必要ですが、行政主体の運営からの変革が必要です。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数		やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備	
	400人 (2017年 300人/年)		40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設	
位置付け	施策の 大綱	5 村民と行政が築く村政の推進				
	基本目標	1 村民みんなで築く自治の村づくり				
	基本施策	1 地域コミュニティの育成・支援				
計画事業 (予算事業)	525 集会施設等維持管理事業			担当部署	総務課	
事業概要	地域コミュニティの拠点である集会施設を維持管理し、コミュニティ活動の円滑な実施を支援するほか、子ども広場の適正な維持管理を実施し、地域の子どもたちが安心して活動できる拠点を確保します。			事業費	区 分	継続
					令和5年度	3,628 千円
					令和6年度	予算編成時協議
					令和7年度	

事 業 実 績						
事業費	予算現額	3,576,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	3,393,301 円	各自治会館・宮ヶ瀬地区住民センターの維持管理を行ったほか、金翅自治会館の灯具及び床の修繕を実施しました。			
事業成果		適正に修繕を実施し、地域コミュニティの拠点としての機能維持を行いました。		課 題	施設の老朽化により、維持管理に係る経費が増加しています。また、利用者の高齢化等に伴い、施設のバリアフリー化等、利便性の向上を検討する必要があります。	
評 価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	【理由】 引き続き適正な維持管理に努め、集会施設の機能を維持するとともに、誰もが利用しやすい施設となるよう継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合	
					廃 止	

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	5 村民と行政が築く村政の推進		
	基本目標	1 村民みんなで築く自治の村づくり		
	基本施策	1 地域コミュニティの育成・支援		
計画事業 (予算事業)	526 コミュニティ活動支援事業		担当部署	総務課
事業概要	自治会をはじめ、趣味や運動、文化伝承等の多様なコミュニティ活動を促進するため、地域コミュニティ団体の活動を支援するとともに、自治会長相互の連携を促し、円滑な自治会活動を支援するため、自治会長会議及び研修会を実施します。 また、「公共」の守備範囲の拡大に伴い、自治会が担う地域の活性化や課題の解決といった機能が保持できるよう、必要に応じた組織体制の再編などを検討します。		区 分	継続
			令和5年度	2,025 千円
			令和6年度	予算編成時協議
			令和7年度	

事業実績						
事業費	予算現額	1,603,921 円	主な実績内容			
	決算額	1,603,921 円	自治会をはじめとする地域のコミュニティ活動を支援し、円滑な自治会活動を促進しました。 (1)自治会長会議の実施(2)自治会長研修会の開催(3)地域コミュニティ活動促進事業補助金1件70,000円			
事業成果		自治会長会議及び自治会長研修会を実施し、地域の垣根を越えたコミュニティの促進を図ったほか、地域コミュニティ活動団体への支援を通して、地域の活性化を促進しました。	課題	自治会加入率が減少傾向にあり、地域コミュニティが希薄化しています。自治会へ加入しやすい環境づくりや効果的な広報の手段、また、団体等の自主的な活動を促進する仕組みについての検討が必要です。		
評価			<div>B</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 自治会をはじめとするコミュニティ活動を積極的に支援するため、継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		○
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 5 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標					
令和５年度 （2023年）までの 重要業績評価指標 （K P I）	未病センターきよかわ 利用者数		やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)		40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	5 村民と行政が築く村政の推進			
	基本目標	1 村民みんなで築く自治の村づくり			
	基本施策	1 地域コミュニティの育成・支援			
計画事業 （予算事業）	527 地域コミュニティ活性化事業			担当部署	政策推進課
事業概要	同世代の仲間づくりやセカンドステージの充実を図ることを目的として、令和５年度に60歳を迎える村民を対象に「新たな門出を祝う会」を開催し、地域コミュニティの活性化及び担い手の確保を図ります。			区 分	継続
				令和５年度	79 千円
				令和６年度	予算編成時協議
				令和７年度	

事業実績							
事業費	予算現額	8,000 円	主な実績内容				
	決算額	7,140 円	令和 5 年 11 月 11 日に開催を予定し、対象者に開催通知を発出しましたが、参加希望者が、最少催行人数に満たなかったため中止となりました。				
事業成果		事業を中止したため、成果はありませんでした。		課題	定年延長や再雇用が一般化しつつあることから、対象者について再検討する必要があります。		
評価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 多世代間交流の場を提供することで、地域コミュニティの活性化を促進するため令和 6 年度の開催を目指します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 5 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、 村民生活や村の他政策、事業に 影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		○
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		○
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		○
	備考					

村の花「ミツバツツジ」



村の鳥「ウグイス」



村の木「イロハモミジ」



【編 集】清川村 政策推進課

〒243-0195 愛甲郡清川村煤ヶ谷 2216

TEL 046-288-1213（直通）

FAX 046-288-1767

E-mail: [kiyokawa@town.kiyokawa.kanagawa.jp](mailto:kiyokawa@town.kiyokawa.kanagawa.jp)